

# ING

Information  
Network  
Group 2020 **vol.23**  
Autumn/Winter

リーダーの肖像

挑戦を続け、この国にもつと  
ゴルフの楽しみを。  
株式会社アコーディア・ゴルフ  
代表取締役会長兼社長 CEO  
田代 祐子 氏

The music  
that echoes  
throughout  
nature



A melody so simple,  
yet so profound

【自然のいたるところに響く心地よい音 シンプルでありながら深遠な節】<sup>ふし</sup>

輝き  
Interview

報道記者でもあることが強み。  
TOKYO MX 報道部 記者 兼 キャスター **森田 美礼 氏**

企業  
探訪

環境省と事業者、双方のお手伝いとして地域活性化をバックアップ  
一般社団法人 地域循環共生社会連携協会 (RCESPA)  
代表理事 **岡本 光司 氏**

Health  
Information

新型コロナウイルス感染症 今後の行方～オリンピック・  
パラリンピック開催に向けて  
参議院議員・小児科専門医・認定内科医 **自見 はなこ 氏**



Contents

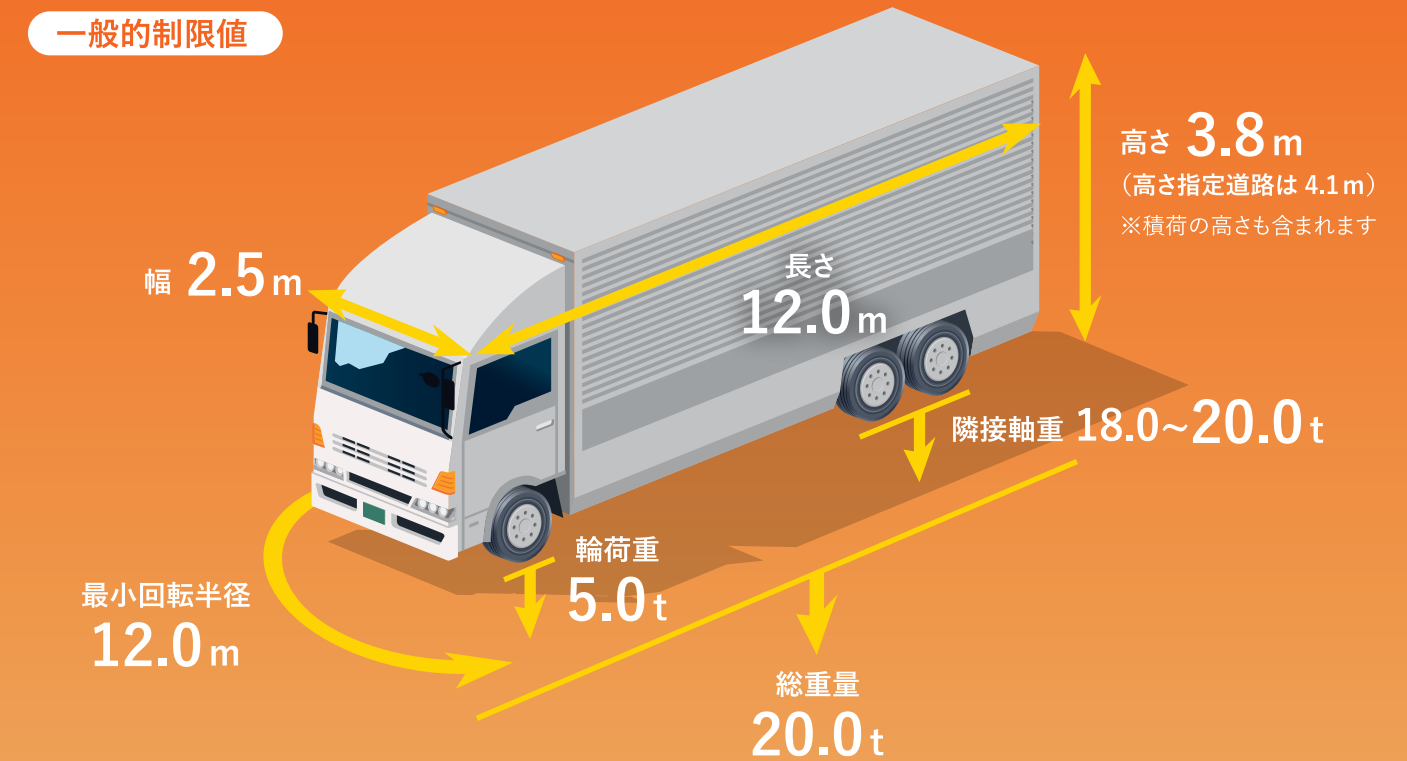
- |    |  |    |  |
|----|--|----|--|
| 02 | リーダーの肖像<br>株式会社アコーディア・ゴルフ<br>代表取締役会長兼社長 CEO 田代 祐子氏<br>挑戦を続け、この国にもっとゴルフの楽しみを。         | 22 | Health Information<br>参議院議員・小児科専門医・認定内科医<br>自見 はなこ氏 新型コロナウイルス感染症<br>今後の行方～オリンピック・パラリンピック開催に向けて |
| 08 | 輝き Interview<br>TOKYO MX 報道部記者兼キャスター 森田 美礼氏<br>報道記者でもあることが強み。                        | 26 | SCOOP<br>スマホのセキュリティ<br>「今すぐできる サイバー空間の防犯対策」<br>警視庁サイバーセキュリティ対策本部                               |
| 12 | 企業探訪<br>一般社団法人地域循環共生社会連携協会 (RCESPA)<br>代表理事 岡本 光司氏<br>環境省と事業者、双方のお手伝いとして地域活性化をバックアップ | 30 | 国際事件記者の目<br>ジャーナリスト 中島 健一郎氏<br>国際交渉力を磨こう!  |
| 16 | HOT BREAK<br>川奈ホテル・川奈ホテルゴルフコース<br>総支配人 村井 宏通氏<br>雄大な自然に抱かれた、東洋一の美しき難コースを楽しむ          | 32 | Moving Beyond<br>株式会社テレワークマネジメント 代表取締役<br>田澤 由利氏 テレワークが中小企業を救う<br>～アフターコロナの新しい働き方に向けたアドバイス～    |
| 18 | Asian Now<br>「聖なる輝く島」の技能実習生<br>ご存知ですか、スリランカ<br>ニロインターナショナル合同会社                       |    | 他：組合広告<br>表4：日本通信株式会社  |



ING 2020年 vol. 23 発行：一般社団法人国際情報普及協会 〒105-0004 東京都港区新橋5-12-1 露月町ビル4階 TEL：03-3434-6203  
編集長：小松 宣俊 製作・編集：岩崎 亮太郎・吉田 安希 デザイン：株式会社プランニング・ロケット 表紙の英文と訳：本山 清治 印刷：株式会社タイム 定価：300円(税別)  
※本紙の掲載記事の無断転載を禁じます。 ※掲載内容・広告のお問い合わせは、編集部まで

# 車両制限令を 守りましょう!!

道路は、一定の構造基準によって作られており、構造の保全、交通の危険防止のため、通行する車両の大きさや重さの最高限度(一般的制限値)が定められています。「車両制限令違反」とは、車両全体の重量が一般的制限値又は許可された限度値を超過することをいいます。



## もし車両制限令に違反してしまったら...

車両制限令に違反した場合、道路管理会社から「措置命令書」もしくは「指導警告書」が、運転手へ交付されます。交付された場合は、速やかに会社へ報告して下さい。報告をしないままにしておくと、点数が累積され、会社の方へ「ペナルティ(割引停止等)」が発生する可能性があります。



**会社へ報告する**  
会社が組合へ報告し、適切な処置方法を検討

**会社へ報告しない**  
累積点数が増え、会社の方へペナルティが発生





# 挑戦を続け、この国にもっとゴルフの楽しみを。

「It's a new game.」の掛け声の下、2000年代初頭、日本のゴルフ界に新風を吹き込んだアコーディア・ゴルフ。年齢や性別を超え、より多くの人にゴルフの楽しみを提供してきた同社は今、わが国最大級のゴルフ場運営会社に成長。そのリーダーとして世界に類を見ない企業への飛躍を目指す田代祐子さんに、ビジネスへの想いや企業経営のヒントを語っていただきました。

株式会社アコーディア・ゴルフ  
代表取締役会長 兼 社長 CEO

た しろ ゆう こ  
田代祐子 氏

【プロフィール】  
鹿児島県枕崎市生まれ 語学学校を経て結婚のためアメリカに移住 6年間の専業主婦生活後、オハイオ州立トレド大学で会計学を学び、1986年にKPMG入所、1995年にパートナー就任 2000年に帰国し、ゼネラル・エレクトリック・ジャパンに入社。その後フェニックスリゾート株式会社で2003年より2年間最高財務責任者などを務める。2011年から2015年まで東日本大震災のボランティア活動に携わる。2012年にアコーディア・ゴルフ社外取締役、2016年に代表取締役社長就任  
<http://www.accordiagolf.co.jp/>

[聞き手] 本誌編集長 小松 宣俊

## 134のゴルフ場を運営

アコーディア・ゴルフではゴルフ場の運営や管理を手掛けており、日本各地で134コースのゴルフ場と、26カ所のゴルフ練習場(2020年10月末現在のオペレーション)を行っています。2020年3月期の、弊社が運営・管理するゴルフ場の入場者数は873万人で、この数は業界トップの実績を誇ります。これは本当にありがたいことで、こんなにも多くの方にご支持をいただいているその理由は、弊社が斬新なビジネスモデルを打ち立て、従来の日本になかったゴルフの楽しみ方を提案し続けてきた結果だと考えています。

## 日本に新たなゴルフの風

弊社は2002年に、アメリカの投資銀行であるゴールドマン・サックス(GS)によって設立されました。当時、日本には経営が立ち行かなくなったゴルフ場が多数あり、GSがそういったゴルフ場を自分たちの手法で再建するために日本で会社を立ち上げたのです。その際のスローガンは「It's a new game.」日本に新しいゴルフの風を吹き込むというものでした。そしてそのスローガン通り、弊社はそれまでにないビジネスモデルを展開してきたのです。

そのビジネスモデルとは、ざっくりいうと年齢や性別を超えて誰もが気軽に

楽しめるゴルフ環境をリーズナブルな料金で提供する、というものです。『ING』の読者の方ならご存知と思いますが、そのころの日本のゴルフ場ではキャディがバッグの上げ下ろしからプレー中のお世話まで逐一行い、まるで王様をもてなすような過剰サービスが当たり前とされていました。もっともその分、ゴルフ場では1日4~5万円の料金を取っていたのです。

そして、お客さまも、ゴルフを接待など社内業務の一つと捉えていたので、高額の料金を経費として落とすことができ、自分の財布からお金を出すことはありませんでした。ところがバブル崩壊の影響などもあり、そのような接待ゴルフの需要が次第に減っていききました。会員の預託金返還などの問題もあり、ちょうど21世紀を迎えるころに日本の多くのゴルフ場が経営困難に陥っていたのです。そこでGSが自分たちのやり方、つまりアメリカ的なゴルフライフを日本に根付かせようと数10カ所のゴルフ場を自分たちの傘下に置き、新たなビジネスモデルを武器としてアコーディア・ゴルフをスタートさせたのです。

## 気軽にエンジョイ

わたしはアメリカで26年間暮らし、あちらでゴルフを楽しんでいたのが日本のプレーはまさに驚きの連続でした。

とにかく日本のゴルフ場は敷居が高く、行くと必ず下にも置かない接遇を受け、レストランには豪華なメニューが用意され、「こんなことが本場にゴルフに必要?」とたびたび思わされたのです。アメリカではどんな名門ゴルフ場でも客は自分でバッグを運び、昼食も取らずにスループレーするのが基本です。また、キャディがいないので、自らカートを運転してコースを回るなど、ゴルフはあくまでも自分のために気軽に楽しむスポーツやレジャーという感覚なのです。そして当然のことながら、ゴルフ場も客も不要なコストは一切掛けません。

このようなアメリカ的なゴルフの楽しみ方にならない、弊社ではいち早く電動カートを導入してセルフプレーを開始しました。また、ヤード数が一目で分かるようにヤーデージ杭に色を付けたり、ピン位置も旗の色で一目瞭然にするなど、セルフプレーに徹底したコースセッティングを実現したのです。もちろん料金はリーズナブルに、それでいてコンディションの良いゴルフ場を提供するよう努めました。いくら料金がお手ごろでも、グリーンやフェアウェイが整備不良ではプレーする気が起きませんからね。このような「新しいプレースタイル」に共鳴してくださるお客さまの数を増やすことで、弊社は成長を続けました。それまでゴルフ場のターゲットマーケットは年配男性に絞られていましたが、アイデア次第で新たな顧客開拓の余地が十分にありました。



アコーディア・ゴルフ習志野カントリークラブ クイーンコース16番



## 決め手は優れたコストパ

新たな顧客開拓は弊社の生命線であり、最近特に力を入れているターゲットマーケットは次の3つに大きく分けられます。一つはリタイアしたシニアで、平日でいいから週に2回はゴルフをしたいという方。一つは若い方で、もう一つは女性です。この3つのターゲットマーケットに共通しているのが、100円でも安く、ゴルフを楽しむということ。つまり、より優れたコストパフォーマンスをお望みなのです。昨今のさまざまなデータを見ると、お客さまがゴルフに掛ける金額は下がり続け、今後その額が増えることはまずないでしょう。特に若い方や年金生活者の方々は、一度のゴルフに何万円も使うことはできません。

弊社ではそのようなニーズに対応するために、先進的な施策を積極的に進めています。それはいいかえると、人手の掛かるサービスを極力減らすということです。そもそもスマートなゴルフをお望みのお客さまは、従来の過剰なサービスなどお望みではないでしょう。そのような思いに的確にお応えするのが新しいテクノロジーの導入です。電動カートをいち早く取り入れたのも人手を掛けず、快適なプレーを楽しんでもらうためであり、自動精算機や自動チェックイン・チェックアウト機、カートナビなどの導入も同様です。

こういったテクノロジーの採用は、非対面・非接触が求められる昨今のコロナ禍においても大きな力を発揮しています。



カートナビ

さらに、ホテル業界などで常識とされているレベニューマネジメントを8年ほど前から取り入れています。これは分かりやすくいうと、料金を一定ではなく需要予測をもとに変動させるというシステムで、需要よりも供給が多ければ価格は下がります。なのでお客さまからすると、閑散期の平日などはお得にプレーできるというわけです。現在、専門チームが全国134コースの予約状況、過去の入場実績、天候などのデータを徹底的に分析し、そのときにベストの価格を提供できるよう努めています。これにより、弊社が擁する全ゴルフ場の稼働率はおよそ80パーセントを維持しています。一般的な稼働率が50パーセント程度とされているので、弊社のゴルフ場はそれだけお客さまに選ばれているのだと大変うれしく思っています。

また、ゴルフ場にはレストラン、ゴルフショップ、浴室など多数の付帯設備があり、それぞれの備品の種類や数を全ゴルフ場で考えると膨大なものになります。そこで購買部を設け、あらゆる備品を集中購買することで徹底的なコスト削減に取り組んでいます。

## ニーズを把握した施策

コストパフォーマンスを高めることは当然のこととしても、お客さまはお金を払う以上、1日を楽しんで過ごしたいとお考えです。その気持ちに応えるためにはコースのコンディションを整えるだけでなく、ターゲットマーケットに特化した提案をしたり、プラスアルファの価値を提供することも必要です。

昨年、千葉県四街道市に「日本一女性に優しい」と謳ったゴルフ場をリニューアルオープンしました。その計画段階では徹底したサーチを行い、「室内のライトは明るい方がいい」「パウダールームの床に髪の毛が落ちていない」「イヤ」といった生の声を多数収集し、できる限り人手を掛けることなく彼女たちの願いに添えるよう努めました。すると大好評を博し、おかげさまでリニューアルオープン以来途切れることなく多くの女性の方にお越しいただいています。女性顧客の割合は市場ではまだ10パーセントほどですが、女性は



四街道GC 女性パウダールーム



## 「すごい会社へ」

弊社は同業他社のように他の業種を手掛ける親会社を持つておらず、事業もゴルフ関連のビジネスしか手掛けていません。生き残りのためには新たな顧客開拓が欠かせないのです。そして、お客さまにコストパフォーマンスに優れたゴルフライフを提供しながら、きちんと収益を上げるビジネスモデルを更新していかなければ未来はありません。そのためにはサービスの在り方、集客方法、ゴルフ場の運営スキルのすべてに常に問題意識を持ち、それらを時代の変化に合わせて常に良いものに変革していく挑戦が不可欠です。弊社の経営陣は近い将来、アコーディア・ゴルフを世界に類を見ないゴルフ場の

オペレーション会社にするという目標を共有しています。その強い思いを言葉に置きかえたのが企業理念の「いい会社から『すごい会社』へ」であり、「すごい会社」とは挑戦と変革を恐れない会社にはかなりません。このような会社を実現するためにはトップが頑張るだけではなく、従業員が主体的に新しい何かに取り組みもうと思える企業風土が必要です。手前みそになりませんが、ほとんどの従業員がこれからの会社のあるべき姿を「自分ごと」として捉え、常に具体的なアクションを起こしてくれているのを実感しています。弊社では企業活動の価値観・行動指針として「笑顔」「挑戦」「団結」「全力」「改善」の5つのスローガンを掲げていますが、これらは従業員自らが考案した

ものです。一般にこのようなスローガンはコンサルティング会社が作成するものですが、会社のより良い未来のために従業員同士が膝を突き合わせ、知恵と力を振り絞ってくれていることを、大変うれしく感じています。

## ピンチをチャンスに

わたしは、「世の中に変化しないものなどないから、自分たちも常に変化しなければならぬ」と肝に命じて経営に取り組んでいます。自分が毎秒年を取るように、世の中も物すごいスピードで変わり続けているのです。昨今のコロナ禍で改めて感じたことですが、世の中には絶対にこれがないとか、絶対になくなるならないというものはありません。なぜなら会社は変化の中で成長してゆく生き物であり、そうである以上、自分たちのビジネスモデルだけが安泰ということはありません。

緊急事態宣言が発令された後、4月から6月にかけては集客数が大幅に減り、正直落ちこみました。それまで業績が良かっただけになおさらでした。しかし、世の中に絶対にいいことがないのと同じで、絶対に悪いこともないのです。事実、その後リモートワークが増えるにつれて、平日にゴルフを楽しむお客さまが以前より増加するなど、ピンチが新しいビジネス

どんなマーケットにおいても需要を牽引する力があります。今後は女性のお客さまのさらなる獲得を目指していきたいと考えています。

また、コロナ禍によって働くスタイルが多様化したことで、一人予約も増えてきました。弊社では夏より一人予約キャンペーンを展開しています。今まで予定が合わず断念していたゴルフが一人予約によって可能となりました。こういった機会を提供を続けていくことが大切だと思います。

よく、日本のゴルフ人口は減り続けていると言われますが、そのような中で弊社においてはトータルラウンド数が増加傾向にあります。その背景には、ニーズを把握した施策があり、常にこれらを実施することができれば、年々加速する少子高齢化の中にあつても安定した集客を実現できると考えています。

チャンスをもたらしました。またレストランなどの休業中、従業員がこれまでの仕事のやり方を徹底的に見直し、より効率的に業務を遂行できるよう努力してくれたことも大きな収穫でした。

ともあれ今回、想定外のことが出てきても柔軟に、スピーディに対応できる体制づくりの重要性を改めて思い知らされました。一般論として、業績が好調なときは誰が指揮を取っても何とかなるものですが、そうでないときは経営者がいかに早く方向転換をして、会社を生き延びさせられるかが問われます。コロナ禍は、そのための心の準備を絶えずしておくべきということを再確認する、またとない機会になったように思います。



フロント飛沫防止シート等のコロナ対策



縁をつなぐ努力を

ここで少し、自分のことについてお話ししたいと思います。わたしは結婚を機にアメリカに渡り、あちらで子育てをしていた26歳のときに大学に入り、その後現地で公認会計士になりました。やがて大手監査法人のKPMGでパートナー（共同経営者）を務めた後、2000年に日本に戻りました。それからゼネラル・エレクトリック（GE）をはじめさまざまな企業で働き、その間にGEの会長であり「20世紀で最も卓越した経営者」と称されたジャック・ウェルチ氏に直接会うなど、貴重な経験を幾つも得ることができました。

これまでの人生を振り返って思うのは、人脈は絶対的な財産ということです。どの仕事に移っても、かつて一緒に働いていた友人に助けられました。わたしは2012年からアコーディア・ゴルフの社外取締役を務め、2016年に代表取締役社長職に就きました。以前にゴルフ関連の仕事をしたことはあったものの、それでも知らないことや分からないことが多々ありました。これは余談ですが、当時弊社は株式を巡るさまざまな問題を抱えていて、その解決のためにわたしは社長就任の要請を引き受けたのです。そんなわたしを、昔からの知り合いがいろいろな角度から支えてくれました。そのとき、人脈の大切さを身に染みて感じましたね。

ノウハウを有しています。2019年に日本初のPGAツアートーナメントとなる「ZOZOチャンピオンシップ」を開催し、同じくPGAのシニアツアートーナメントである「マスターカード・ジャパンチャンピオンシップ」も弊社が日本で初めて開催しました。弊社のコア管理能力は各方面から高い評価をいただいております。来年度の東京オリンピックのゴルフ競技にも、弊社のコース管理スタッフを派遣する予定です。

また弊社では、インバウンド復活に向けてこのたび、経済成長著しいベトナムの企業と業務提携を結びました。相手はゴルフ場やエアラインを経営していて、互いに送客し合う仕組みづくりに早急に取り組むなど、未来を見据えた挑戦を果敢に行っています。

女性は貴重な戦力

今年にはコロナで大変な年でしたが、弊社におきましても会議などが減少したためゴルフを楽しむ時間が増え、2020年はこれまでの人生で一番多くゴルフをした年になると思います。かれこれ30年以上ゴルフを続けていますが、決して上手ではありません。それでもハンディキャップを取ることはなく、上手なくとも純粋にゴルフを楽しみたいと思っています。よく女性同士でコンペを



日本人のビジネスマンがもつたいたいと思うのは、人との付き合いが会社で終わってしまうことです。いろいろな人と出会って共に仕事をする中で、必ず気が合う人、仕事を離れても付き合い合える人がいると思うのですが、なぜか日本人は部署が変わったり、退社すると交流も終えてしまふのです。人脈はあくまでも会社として築くもので、個人として築くものではないという認識なのですね。それはキャリアについても同じで、多くの方がそれを社内です世するためのツールと捉えています。

開くのですが、そのときも一切スコアを付けず、「打てないところにボールが飛んでいったら各自拾ってくるように」といったノリでゴルフをエンジョイしています。

ここで、皆さまよりキャリアアップを目指す若い女性たちにわたしたちからのメッセージをお伝え頂きたいと思えます。

日本は世界有数のダイバーシティ後進国であり、女性が社会の第一線で活躍していないのは先進国の中で日本だけです。さらに悲しいのは、多くの女性が

わたしから見ると、明日会社がなくなるとどうしようとなぜ思わないのか、不思議でたまりません。なぜならアメリカでは、会社がある日突然売却されるといったことが日常茶飯事だからです。人脈もキャリアも、その人の人生を豊かにするものです。ですから今後は会社という枠を離れて、自分のためにその二つを充実させる努力をしていただきたいと思えます。ご縁というものは、自分からつなぐと努力しなければすぐに切れてしまうのですから。

自分の可能性に気付いていないことです。わたしは普通の主婦からスタートして、何のつても足掛かりもないままビジネスの世界に飛び込み、現在の地位に至ることができました。でも、それはわたしが特別な人間だからではありません。すべての女性には、無限の可能性がある。このことを是非、企業経営者の方は女性社員の方にお伝えください。そうすれば、きっと彼女たちは皆さまの会社にとって、なくてはならない戦力になるはずですよ。

ゴルフ場は広告媒体

人とのご縁をつなぐためにも、ぜひゴルフ場にお越しただければと思います。ここでは昔のように堅苦しくてお金の掛かる接待ゴルフではなく、上下関係にとらわれず、みんなで1日を陽気に過ごすカジュアルなゴルフをお楽しみください。そういった意味で、弊社が運営・管理するゴルフ場は新感覚のビジネスゴルフにびつたりだと思っています。

また「ING」をご覧の企業経営者の方に伝えたいのは、ゴルフ場は広告媒体に最適ということです。一定の収入と肩書を持った人が集まるゴルフ場は、さまざまな属性の人が利用する交通機関などと違い、特定の層に絞った広告やPR展開を行うことができます。その方法もデジタルサイネージやカートナビを使ったり、あるいはイベントでロゴ入りボールを配ったりと多彩です。実際に、名刺管理ツールを手掛けるベンチャー企業さまがロゴ入りボールによるPRを行ったところ、予想を超えるエンゲージメント率を上げることができました。なので効果的かつ効率的な広告・PR展開をお望みの方がいらつしやれば、ぜひ弊社ゴルフ場の活用をご検討ください。さらに宣伝をさせていただくと、アコーディア・ゴルフは日本で唯一、PGAツアートーナメントの公式戦を開催できる



富士の杜ゴルフクラブ

株式会社アコーディア・ゴルフ  
 〒140-0002 東京都品川区東品川4-12-4 品川シーサイドパークタワー  
 企業情報サイト <http://www.accordiagolf.co.jp/>  
 オフィシャルサイト(オンライン予約など) <https://www.accordiagolf.com/>

ING 読者プレゼント

平日無料セルフプレー券  
 (有効期限:2021年5月31日まで)

アコーディア・ゴルフロゴ入りボール1ダース  
 5名様にプレゼント

8名様にプレゼント  
 無料セルフプレー券

Web版読者の方は  
 ご応募いただけません



## ★輝き Interview★

**森田** 自分自身まだまだな部分も多いのですが、分からないなりに色々な方々に質問することができ、教を乞うことができる、皆に大事に育てていただけの良い環境に感謝しています。TOKYO MXは、自主性を重んじ、20代にも任せてくれるような社風ですので、私と後輩の田中陽南<sup>ひなな</sup>さんと手を上げ、現在番組SNSの発信を担当しています。メッセージなどで

**森田** 都庁・都政の担当の時は、小池百合子都知事が小笠原諸島返還50周年<sup>\*</sup>1記念式典に出席するため、私も同行取材として片道約24時間の航路で父島へ出張したのは貴重な経験でした。東京都の広さ、「東洋のガラパゴス」とも評される島のすばらしさを実感したのと



**森田** 金曜キャスターを務めている『news TOKYO FLAG』の初回放送では、久しぶりにかなり緊張し、表情が固かったと反省しております。また、次の番組へとバトンタッチする最後のコーナーで、自分の名前を滑らかに話せなかったという、まさかの失敗がありました(苦笑)。

<sup>\*</sup>1:小笠原諸島は、東京都心から約1,000km南の太平洋に点在する約30の島々(父島、母島など)で構成され、行政上は東京都小笠原村に属する。1968年6月26日に米軍から日本へ返還された。

### ★目指したのは報道部

—きっかけが高校野球？

**森田** 高校時代野球部に所属し、高校野球東京大会の試合のアナウンスを担当しました。そのとき取材にいらしていたアナウンサーの方に話しかけに行ったのは、憧れからだったのですね。大学生になり、本気でアナウンサーを目指すにあたり、アナウンススクールにも通いました。

—なぜ報道部を志望したのですか？

**森田** “新人であっても、自分の声でレポートができるのは報道番組だと考え、報道部を志望するにいたりました。そして、私自身、東京生まれ、首都の動きを肌で感じながら育ったため、“東京へのこだわりが人一倍強く、また離れたがたいことから、東京のテレビ局に絞りました。”

—MXは20代が活躍しやすい社風だと感じてますね？

**森田** 自分自身まだまだな部分も多いのですが、分からないなりに色々な方々に質問することができ、教を乞うことができる、皆に大事に育てていただけの良い環境に感謝しています。TOKYO MXは、自主性を重んじ、20代にも任せてくれるような社風ですので、私と後輩の田中陽南<sup>ひなな</sup>さんと手を上げ、現在番組SNSの発信を担当しています。メッセージなどで

### ★夜討ち朝駆け生活

—報道記者はどんな生活ですか？

視聴者の方々のご意見にも目を通すことができ、とても参考になります。

**森田** 記者として細密な取材をするために、平日頃から勉強を続けることは必須で、情報のチェックや調べものも多い生活です。私の記者としてのスタートは警視庁の担当でした。事件・事故は24時間365日待ったなしで起こりますので、いつ呼び出しが来ても対応する必要があり、眠っていても飛び起きて駆けつけるとい生活で、最初の頃は、時間が読めないことを辛くも感じましたが、だんだんと慣れてくるものですね。“誰が一番早く着くか”が重要で、瞬発力ともちろん体力がなければついていけない、意外と体育会系な世界です。また、現場で凄惨な事件などを取材していると、気持ちが入り込んでしまい、涙した日も多々ありました。

—報道部異利を感じた経験は？

**森田** 都庁・都政の担当の時は、小池百合子都知事が小笠原諸島返還50周年<sup>\*</sup>1記念式典に出席するため、私も同行取材として片道約24時間の航路で父島へ出張したのは貴重な経験でした。東京都の広さ、「東洋のガラパゴス」とも評される島のすばらしさを実感したのと

# 報道記者でもあることが強み。

## Mirei Morita

TOKYO MX 報道部 記者 兼 キャスター

もりた みれい  
**森田 美礼氏**

東京都出身 共立女子大学卒業 2016年に東京メトロポリタンテレビジョン株式会社(TOKYO MX)入社、報道部配属 警視庁・都庁担当の記者を経て、2018年から政治・宮内庁担当の記者との兼務でキャスターとして報道番組を担当 現在『news TOKYO FLAG』(月～金/20:00～21:00(金曜キャスターほか))など出演中

TOKYO MXは開局25周年を迎えた東京ローカルの独立テレビ局(地上波9ch)。2つのチャンネルがあり、知事会見・都議会中継など62区市町村の都民に根差した番組や、名物バラエティ、またアニメは新作から懐かしの作品まで放送しており、話題に事欠かない。

今回は、2020年10月より“月～金 夜8時から”へ放送枠拡大となった『news TOKYO FLAG』の金曜キャスターを務める、“MXの秘蔵っ子”報道部に籍を置く入社5年目の記者兼キャスターの森田美礼さんにお話を伺いました。



『news TOKYO FLAG』ホームページ

[https://s.mxtv.jp/news/tokyo\\_flag/](https://s.mxtv.jp/news/tokyo_flag/)

同時に、船が1週間に1便であったため、その週はそのまま滞在となり、“島しょならではの暮らし”を体感しました。

—今は政治担当の記者だとどうですか？

**森田** 2018年から政治(国政)担当になりました。それまでの都政の取材の経験が活かされたと感じるのは、東京都の予算が1つの国家予算に並ぶ規模だからかもしれませんね。最近ではコロナ禍での総理辞任・新内閣発足などもあり、気が休まらないこともありますが、自分が選んだ仕事に対する覚悟ができてきたように思います。幸いにして人と会話するのが好きなので、議員会館に行き、飛び込み

### ★初中継で頭の中が真っ白に!

—大失敗したことがありますか？

**森田** 入社後初めての中継で、心臓はバクバク、体はガチガチになってしまい、自分が何を言っているのかわらなくなっていました。生放送の途中で中継が切られるという大失敗をしました。ディレクターやカメラマンに申し訳なくって、現場で大泣きしたのを覚えています。

—最近失敗しましたか？

**森田** 金曜キャスターを務めている『news TOKYO FLAG』の初回放送では、久しぶりにかなり緊張し、表情が固かったと反省しております。また、次の番組へとバトンタッチする最後のコーナーで、自分の名前を滑らかに話せなかったという、まさかの失敗がありました(苦笑)。





あるキャスターを目指して精進しているところなんです。そして、いつかは人の気持ちに寄り添って話を聞きだし、伝えることができるようにもなりたいと思っています。あとは、誰とでもすぐに仲良くなれるところが私のウリです。

—最近気になるニュースは？  
森田 やはり新型コロナウイルス関連ですね。できることは少ないかもしれませんが、お仕事や生活などの社会的不安を少しでも和らげることができるような情報や、将来的にどのような社会へと変化していくのか、そういったことも報道できたらと思います。



—放送、視てました(苦笑)。気持ちアゲるコツはありますか？

森田 いつも笑顔で心掛けていたため、能天気な人だと思われることもあるのですが、一人で悩む日もあります。そんなときは、私の好きな言葉「失敗とは転ぶことではなく、そのまま起き上がらないこと」※2を思い出し、転んでもただでは起きず、もう少し堂々とした姿勢でいられるようになりたいな、と前向きに考えるようにしています。

—気分転換したいときは何をしますか？

森田 最近は週末に休みが取れると、ネット予約をして友人とゴルフへ行きます。ゴルフのラウンドは、毎回自分との戦いでもあるので、自然と精神力を鍛えられるのもいいですね。あと、YouTubeで昭和の名曲をリサーチするのが趣味です。徳永英明さんの「輝きながら」など、私が生まれるよりも前の曲なのに、なぜか心地よくて。昭和ではありませんが、ビリーバンバンさんの「さよなら涙」、ZARDさんの「マイフレンド」も最近のお気に入りです。

★中立の立場で報じる

—報道記者としての心構えは？

森田 取材では、阿川佐和子さんの「聞く力」※3のように、相手が思わず本音を言いたくなるような、そんな聞き上手な

★記者とキャスターの割合は50:50

—入社5年目で夢であったキャスターに抜擢され、いかがですか？

森田 うれしい反面、夢でうなされるほどのプレッシャーを感じました。これまでも4分の短いニュース番組のアナウンスは担当してきましたが、1時間の『news TOKYO FLAG』ではかなりの緊張感の中、集中力を保たなければならず、やはり責任の重さはこれまでの比ではないですね。ですが、ここまで育ててもらった分、これからは、少しずつでも自分が引張っていくくらいの気持ちで臨まなければと思っています。

—悩みはありますか？

森田 記者としての経験から突き詰めて伝えたい、スタッフとしていっしょに番組を作りたいという思いと、放送時間中に伝えられることには限りがあるのだから、キャスターとして伝えることに集中すべき時があるという、二足のわらじならでは葛藤も生じてきました。

—実際どちらの割合が多いですか？

森田 これまでは記者80%…キャスター20%で記者がメインでしたが、現在は記者とキャスターどちらも50%のバランスで番組のスタートを切りました。今後は自分なりにベストバランスを都度調整しながら、うまく両立していきたいと思っています。

人を目指しています。ただ、ときに報道は人の心に踏み込むことが仕事でもあるため、そのあたりの塩梅には注意しています。そして、何がニュースなのか、何を伝えたいのかを軸に、常にどこか冷静に、中立の立場で報じるよう気をつけています。

—原稿を書くときの心掛けは？

森田 視聴者が知っている、分かっているものだと勝手に解釈せず、また思わぬ方向に取られないように、原稿が声となって視聴者の耳に入ること、想像し、分かりやすく伝えることを第一に意識して原稿を書きます。最初はダメだしばかりでしたが、これまでに何百もの原稿を書いた積み重ねから、少しずつではありましたが先輩から修正が入ることも減ってきました。

—アナウンスについての姿勢は？

森田 ご高齢の方にも聞き取りやすくお伝えできるよう心掛けています。また、他の記者が取材したニュースを読む際は、その記者は「何を一番伝えたいのか」、その思いを心に留め、それを声や顔の表情として、そこはかとなく醸し出して伝えることができたかな、と思っています。

★記者でもあることが強み

—チャームポイントは？

森田 記者という軸があることが私の強みでもあるので、そこを活かして説得力の

—『news TOKYO FLAG』への抱負をお聞かせください。  
森田 「あの番組は誠実に伝えている」と言われるような、そんな番組にしたいです。スタッフ一丸となつて、62区市町村の事件事故・行政・防災・スポーツ・エンタメ情報をより細かく拾い上げ、東京で生活するために役立つ情報をいち早くお届けしますので、ぜひご覧ください。

**ING 読者プレゼント**

アーティスト 村上 隆さんデザインの  
TOKYO MXマスコットキャラクター「ゆめらいおん」のぬいぐるみ

5名様にプレゼント

Web版読者の方は  
ご応募いただけません

「MXモール」HPにて限定販売中。税込 ¥ 2,500  
©TM/KK All Rights Reserved.

※2: カナダ出身で「アメリカの恋人」と称された俳優、プロデューサーのメアリー・ピックフォード氏(1892-1979)の言葉  
※3: 阿川佐和子氏のベストセラー「聞く力 心をひらく35のヒント」(2012年 文春新書)



# 環境省と事業者、双方のお手伝い として地域活性化をバックアップ

今、日本各地で、環境省が提唱する「地域循環共生圏」の創造に向けてさまざまな取り組みが進んでいます。それぞれの地域が抱える環境、経済、社会に関する問題を自分たちで解決し、他の地域と手を取り合い、共に活性化を目指すこの取り組みについて、一般社団法人地域循環共生社会連携協会(RCESPA)の代表理事を務める岡本光司さんに伺いました。

「聞き手」本誌編集長 小松 宣俊

## 脱炭素、循環型、自然共生

最初に「地域循環共生圏」について教えてください。

岡本 環境省が2018年に策定した「第五次全国環境基本計画」によって進めている取り組みで、その目的は各地域の環境に関する課題を、経済や社会のそれと同時に解決することにあります。この三つはそれぞれ単独で存在しているのではなく、互いに密接かつ複雑にかかりあっています。例えば少子高齢化や人口減少は森林などの荒廃に加え、経済の疲弊につながります。それならば一つにまとめて解決していくというわけです。

なぜ地域かという点、国は一つひとつの地域から成り立っているからです。日本を元気にしようと思えば、各地域が手を取り合いながらいろいろな課題を解決し、お互いに元気になる必要があります。地域循環共生圏づくりには、そのような考えがあるのだと思います。だから大きな視点で捉えれば、地域循環共生圏づくりの一番の目的は地域の活性化にあるといえるかもしれません。

もう少し詳しく教えてくださいいただけますか。

岡本 地域循環共生圏づくりのキーワードとして「脱炭素社会」「循環型社会」「自然共生社会」の3つがあります。脱炭素社会とは、気候変動の原因と考えられる温室効果ガスの主成分である二酸化炭素を出さない、使わない社会のことです。その実現への動きは、2015年の「国連気候変動枠組条約第21回締約国会議(COP21)」で

「パリ協定」が採択されたことなどにより、今や世界的な趨勢<sup>トレンド</sup>となっているのは皆さんもよくご存知でしょう。二酸化炭素を出す要因の一つが、石炭や石油といった化石燃料による火力発電と考えられています。脱炭素社会を目指すには、その熱源を従来の化石燃料から二酸化炭素を排出しない太陽光やバイオマス燃料、地熱などに変えていく必要があります。地域循環共生圏づくりではまず、それら再生可能な代替熱源による発電を、各地域単位で進めることが求められているのです。また、脱炭素社会の実現には省エネルギー、つまり鉄道などの社会インフラに必要なエネルギーの消費やロスをいかに減らしていくか、そのためには何をすべきかという視点も重要になります。

脱炭素社会のはじまりは、電力などのエネルギーを自前でつくるといっていいですか。

岡本 そうです。要は電力の自立化と自己完結化です。太陽光であれ地熱であれ風力であれ、自分たちの地域の条件に適した資源を生かして電力をつくり、それを地域内に循環させることで地域内の暮らしや産業に必要な電力を賄うエネルギーシステムを整備するという考えです。

それが循環型社会の実現につながるわけですね。

岡本 はい。もっとも地域内に循環させるのは電力だけではなく、お力ネもです。自分たちで電力をつくると、その地域の電力収支はおそらくプラスになるでしょう。そこでその余ったお力ネをイノベーションの創出に活用したり、地域の特色を生かした観光振興などに使うことでお力ネをつくり、それを地域内に回すという経済的な好循環も、ここでの循環に含まれます。

いつてみれば町おこしですね。

岡本 そうともいえますが、地域循環共生圏づくりにおいては単なる町おこしでは終わらずに、それを脱炭素社会や自然共生社会の実現につなげて考える必要があるでしょうね。

自然共生社会とはどのような社会ですか。

岡本 これは地域同士が水や食料といった自然の恵みはもたらさず、電力などを分け合うことで互いに支え合い、連携や交流を深める社会といえます。自分たちで電力を賄って

いても、自然災害などで発電がストップすることがあります。そういったときに隣接した地域から電力を分けてもらったり、あるいは相手が困っているときに分けてあげることで共生、つまり共に生きる道を探っていくというわけです。

要はリスクヘッジにつながるかと。

岡本 はい。例えば北海道内の電力は、主に苫小牧にある火力発電所で賄われています。その稼働が2018年の北海道胆振東部地震によりストップし、北海道全域が停電に陥るという事故が発生しました。そのとき、それぞれの地域が自立して発電を行い、その電力を周囲の地域と融通し合っていれば、もしかするとそのようなリスクは回避できたかもしれません。

また、共生は「棲み分け」の意味を持ち合わせています。日本の各地域にはそれぞれ特色があり、わたしが仕事をしてきた京都は「伝統文化」という世界に誇る財産を持ち、他の地域には例えば海がきれいだとか、きつとそこにしかない特色があると思います。これからは、各地域がそれぞれの財産を活用することで生き残り、その中で培った知恵や技術などを共有しながら共存していくという考えがより一層重要になると考えています。

競争ではないわけですね。お話を聞いているとSDGsを連想しました。

岡本 SDGsには2030年までに達成すべき17の目標がありますが、日本でそれらの達成に何かが必要かを突き詰めると、やはり

地域の活性化、それぞれの地域がいろいろな意味で自立するための力を養うことではないかと思うのです。そのための方法の一つとして、各地域が知恵を絞って自前で電力をつくり、そこから得たお力ネを地域内に循環させ、さらには自分たちの財産を生かす。そうすることで環境、経済、社会に関するさまざまな問題を共に解決していけば、SDGsの目標達成も自ずと近づいてくるのではないかと考えています。

一般社団法人 地域循環共生社会連携協会 代表理事

岡本 光司 氏

1955年 大阪府生まれ

1979年 大阪大学経済学部卒業、

同年 京阪電気鉄道株式会社入社

2008年 京福電気鉄道株式会社常務取締役

2015年 同社代表取締役社長

2019年 同社取締役会長

2020年 同社現相談役

2019年 一般社団法人 地域循環共生社会連携協会 代表理事





環境省の補助金を代行

地域循環共生社会連携協会は何をしているのですか。

岡本 現在は主に、地域循環共生圏づくりに向けて民間企業や地方公共団体などの各事業者が進める事業に対して交付される補助金を、環境省に代わって執行しています。また、そのための相談を受け付けたり、アドバイザーなども行っています。大まかにいえばさまざまな補助事業における、環境省と事業者、双方のお手伝い的な存在です。

その補助金とは、環境省が事業者を選んで交付するのですか。

岡本 いいえ。その反対で、環境省の公募情報に従って各事業者が補助金を応募申請するという方式が採用されています。

弊協会の業務の流れはまず、その応募申請に対する審査基準を作成し、その内容を環境省に確認、了承してもらいます。その上で、その基準に基づいて各事業者が進めている事業の内容を審査し、最終的にこちらで選定した事業者に補助金を執行します。

どんな事業が補助金の対象となるのですか。

岡本 例えば、2019（平成31）年度には「地域の多様な課題に応える脱炭素型地域づくりモデル形成事業」が対象とされました。これはまさに脱炭素社会化を端緒としてさまざまな課題解決を目指す事業であり、最初に説明した内容に深くかかわるものといえるでしょう。

2018（平成30）年度には「ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）化による集合

住宅（低層・中層）における低炭素化促進事業」が対象となりました。「ZEH」とは1年間の消費エネルギーより、太陽光発電などでつくったエネルギーの方が多い住宅のことです。

最近では「再生ブレーキ」というブレーキ時に発電を行い、そうして生み出した電力を架線に戻して他の車両が使えるようにする技術があるのですが、それを車両に採り入れるための補助事業に携わりました。また、冷媒にフロンを使うことなく冷凍効率を上げる冷凍庫の開発への補助事業や、「グリーンスローモビリティ（グリスロ）」という、ゴルフ場の

住宅（低層・中層）における低炭素化促進事業」が対象となりました。「ZEH」とは1年間の消費エネルギーより、太陽光発電などでつくったエネルギーの方が多い住宅のことです。

最近では「再生ブレーキ」というブレーキ時に発電を行い、そうして生み出した電力を架線に戻して他の車両が使えるようにする技術があるのですが、それを車両に採り入れるための補助事業に携わりました。また、冷媒にフロンを使うことなく冷凍効率を上げる冷凍庫の開発への補助事業や、「グリーンスローモビリティ（グリスロ）」という、ゴルフ場の

住宅（低層・中層）における低炭素化促進事業」が対象となりました。「ZEH」とは1年間の消費エネルギーより、太陽光発電などでつくったエネルギーの方が多い住宅のことです。

最近では「再生ブレーキ」というブレーキ時に発電を行い、そうして生み出した電力を架線に戻して他の車両が使えるようにする技術があるのですが、それを車両に採り入れるための補助事業に携わりました。また、冷媒にフロンを使うことなく冷凍効率を上げる冷凍庫の開発への補助事業や、「グリーンスローモビリティ（グリスロ）」という、ゴルフ場の



グリーンスローモビリティ

住宅（低層・中層）における低炭素化促進事業」が対象となりました。「ZEH」とは1年間の消費エネルギーより、太陽光発電などでつくったエネルギーの方が多い住宅のことです。

最近では「再生ブレーキ」というブレーキ時に発電を行い、そうして生み出した電力を架線に戻して他の車両が使えるようにする技術があるのですが、それを車両に採り入れるための補助事業に携わりました。また、冷媒にフロンを使うことなく冷凍効率を上げる冷凍庫の開発への補助事業や、「グリーンスローモビリティ（グリスロ）」という、ゴルフ場の

住宅（低層・中層）における低炭素化促進事業」が対象となりました。「ZEH」とは1年間の消費エネルギーより、太陽光発電などでつくったエネルギーの方が多い住宅のことです。

最近では「再生ブレーキ」というブレーキ時に発電を行い、そうして生み出した電力を架線に戻して他の車両が使えるようにする技術があるのですが、それを車両に採り入れるための補助事業に携わりました。また、冷媒にフロンを使うことなく冷凍効率を上げる冷凍庫の開発への補助事業や、「グリーンスローモビリティ（グリスロ）」という、ゴルフ場の

住宅（低層・中層）における低炭素化促進事業」が対象となりました。「ZEH」とは1年間の消費エネルギーより、太陽光発電などでつくったエネルギーの方が多い住宅のことです。

最近では「再生ブレーキ」というブレーキ時に発電を行い、そうして生み出した電力を架線に戻して他の車両が使えるようにする技術があるのですが、それを車両に採り入れるための補助事業に携わりました。また、冷媒にフロンを使うことなく冷凍効率を上げる冷凍庫の開発への補助事業や、「グリーンスローモビリティ（グリスロ）」という、ゴルフ場の

住宅（低層・中層）における低炭素化促進事業」が対象となりました。「ZEH」とは1年間の消費エネルギーより、太陽光発電などでつくったエネルギーの方が多い住宅のことです。

電動カートを大きくしたような電動小型低速車両の導入に関する補助事業にもかかわらず、

電動カートを大きくしたような電動小型低速車両の導入に関する補助事業にもかかわらず、

電動カートを大きくしたような電動小型低速車両の導入に関する補助事業にもかかわらず、

電動カートを大きくしたような電動小型低速車両の導入に関する補助事業にもかかわらず、

電動カートを大きくしたような電動小型低速車両の導入に関する補助事業にもかかわらず、

電動カートを大きくしたような電動小型低速車両の導入に関する補助事業にもかかわらず、

電動カートを大きくしたような電動小型低速車両の導入に関する補助事業にもかかわらず、

電動カートを大きくしたような電動小型低速車両の導入に関する補助事業にもかかわらず、

電動カートを大きくしたような電動小型低速車両の導入に関する補助事業にもかかわらず、

電動カートを大きくしたような電動小型低速車両の導入に関する補助事業にもかかわらず、



一般社団法人  
地域循環共生社会連携協会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-1-12 虎ノ門ビル6階  
TEL:03-3502-0700 <https://rcespa.jp/>





# 大海原を望み、灯台を擁する富士コース・11番ホール

富士コースはご宿泊者さまのみの利用に限らせていただいております。大島コースはゴルフのみの予約も承っております。

現在は宿泊者以外でも利用できるのですが。

現在はお正月は政財界の新年会が多く、特にお正月は政財界の新年会の様相をなしていたそうですが、年末年始を川奈で過ごすことがステイタスになっていたのですね。

川奈ホテルゴルフコースさまは「超」名門と位置付けられています。開業当初はどのような方たちがプレーを楽しんでいたのですか。

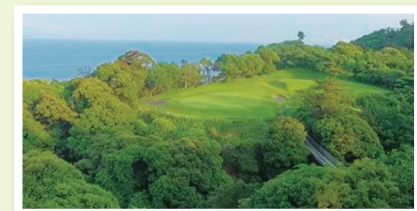


フジサンケイレディスクラシック開催

優勝を果たしました。2020年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止となり、本当に残念な限りです。



富士コース 16番ホール



大島コース 6番ホール

すべてお薦めですが、強いて挙げるとすれば富士コースでは灯台に向かつて美しい景色が広がる11番、海岸沿いにある打ち下ろしのロングホールの15番、そして典型的な砲台グリーンで逃げ道のないショートホールの16番ですね。

大島コースでは、吊り橋の掛かった谷越えのショートホールの6番です。こちらは見た目の難しさと、思わず叫びたくなるような深い谷があることから「S.O.S.」のニックネームで知られています。

村井総支配人のお薦めホールを教えてください。

富士コースはキャティ付きの歩きプレーが基本ですが、組数限定で運転手付き乗用ゴルフカーもご利用いただけます。大島コースは乗用ゴルフカーを利用したセルフプレーとなっています。ティーオフの位置については、ご自身で選びいただけるようにしています。

大島コースの全ホールに「ニックネーム」があるそうですね。

最近、高齢の方に配慮して電動カートを採用するゴルフコースが増えていますが、こちらではいかがでしょうか。年齢や距離を考慮してティーオフの位置を前に出すゴルフコースも多くなっています。

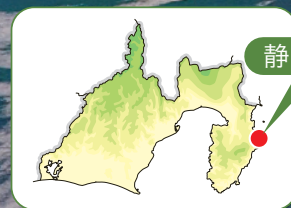
4番はティーショットを失敗するとボールが海に消えることから「グッドバイ」、7番は設計者の大谷光明氏がナイスショットをして笑顔を見せたことにちなんで「オオタニスマイル」、13番はシーザーの「来たり、見たり、勝てり」に例えて「ヴィー・ヴィー・ヴィー」、17番は両サイドの花畑がバリのシャンゼリゼ通りを思わせることから「シャンゼリゼ」といったように、全ホールにユニークなニックネームが付けられています。弊コースでプレーを楽しまれる際は、景観の美しさはもとより、各ホールの個性を十分に満喫いただければ幸いです。

## 川奈ホテルゴルフコース

〒414-0044 静岡県伊東市川奈 1459  
TEL.0557-45-1111 FAX.0557-45-1114  
<https://www.princehotels.co.jp/golf/kawana/>

各界名士の社交場として開かれた「川奈ホテルゴルフコース」を訪ねる

# 雄大な自然に抱かれた、東洋一の美しき難コースを楽しむ



静岡県伊東市

## 川奈ホテル・川奈ホテルゴルフコース

総支配人 村井 宏通 氏



川奈ホテルゴルフコースさまは90年を超える歴史をお持ちですが、まず開業の経緯から教えてください。

大島と富士の2コースのうち、大島コースが1928年に開業しました。当初、川奈ホテルの創業者である大倉財閥二代目総帥の大倉喜七郎男爵は、富士山を背に紺碧の相模湾を一望する地にイギリス風の城や荘園をつくる予定でした。ところが主に火山灰から構成される土壌の性質上、牧草が育たないためゴルフ場に変更したそうです。

コースの設計を任されたのは「日本ゴルフの父」と称される大谷光明氏です。昭和初期の当時は重機がないため手作業でつくられ、その名残りは起伏などから感じ取ることが出来ます。こちらには開業時から宿泊可能なクラブハウスが設けられていましたが、多くのお客さまは伊東の宿泊施設から馬車で来場されていたそうです。



宿泊可能なクラブハウス

富士コースの開業はいつですか。

1936年に川奈ホテルのオープンと同時に開業しました。こちらのコースは赤星六郎氏の設計で半ば完成し、実際にプレーもされていたのですが、大倉男爵はコースの全面変更を敢行します。



1936(昭和11)年頃のプレー風景

そうして生まれたのが「東洋難しい」と謳われる、英国人のチャールズ・ヒュー・アリソン氏が手掛けた名コースですね。

はい。その特徴は、スコットランドのタコ壺バンカーほど極端ではないものの深くて手ごわい「アリソンバンカー」と、ホールの両方が自然の地形を生かして巧みにつくられた独特のコースマネジメントにあります。また、こちらはスコットランドに多く見られる海岸に面したリンクスコースであり、高麗芝特有のグリーンを持つ難コースとしても広く知られています。現在、アメリカの『ゴルフマガジン』誌の「世界100選ゴルフコース」において56位に選定されています。ちなみにアリソン氏に支払われた設計料は当時では破格の1万円円で、今の貨幣価値に換算しても相当の額になるかと思えます。

富士コースにはさまざまなエピソードがあるそうですね。

11番ホール内に位置する川奈崎灯台はティーをデザインしてつくられています。もちろん本物の灯台で、1957年の初点灯以来、海上航路の案内を務めてきました。また戦後の一時期、2番ホールのティー横から海岸にかけてワイヤーが張られ、伊勢志摩の的矢より運ばれた生ガキの保管場所が設けられていました。生ガキはホテル内のレストランやバーで供され、川奈名物になっていたそうです。

それは面白いですね。富士コースでは数々の選手権競技が行われ、名勝負が繰り広げられてきました。

開業間もない1939年の日本プロゴルフ選手権大会では戸田藤一郎プロが優勝し、国内初のグラインドスラムを達成しました。戦後の1952年には日本オープンゴルフ選手権競技が開かれ、そのときは中村寅吉プロが栄冠を勝ち取っています。

1981年から2004年まではフジサンケイクラシックの舞台となり、中嶋常幸プロ、尾崎健夫プロ、尾崎将司プロ、海外の選手ではアメリカのマーク・オメーラプロやトッド・ハミルトンプロが勝利の栄光に輝いています。2005年からはフジサンケイレディスクラシックの熱戦が繰り広げられ、昨年は韓国の申智愛(シン・ジエ)プロが





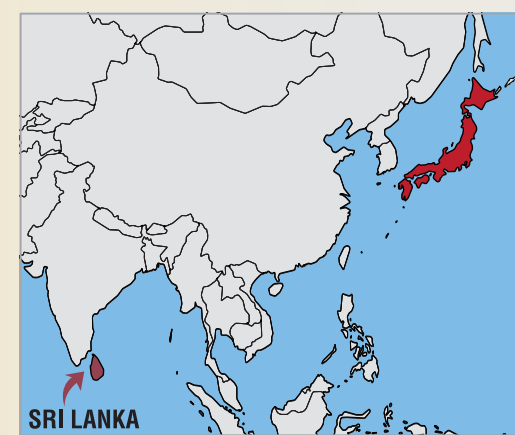
# 「聖なる輝く島」の 技能実習生

ニロインターナショナル合同会社



## ご存知ですか、スリランカ

スリランカはインドのすぐ南に浮かぶ島国でその美しさから東洋の真珠と呼ばれています。国名のスリランカはシンハラ語で「聖なる輝く島」という意味で1972年にそれまでのセイロン「ライオンの島」から改められました。日本からは直行便で約9時間です。ティアドロップの形をした島は日本の北海道くらいの広さで人口は約2,200万人（人口密度は日本とほぼ同じ）、年齢割合は若者が多く働き手が豊富な国です。赤道近くですが標高差が大きく内陸部の山間地帯は日本の春の陽気くらいで涼しくいられます。首都は1985年に遷都されたスリジャヤワルダナプラコッテであり最大都市は国際空港のある西海岸の首都コロンボです。350mの蓮の花を模したロータスタワーや高層ビルが立ち並んでいます。



また昼夜の寒暖の差が激しいことから茶葉の生育に適し、おいしい紅茶の栽培が盛んです。旧国名の「セイロン」からセイロンティーと呼ばれ昔から世界中で親しまれています。



広がる紅茶畑

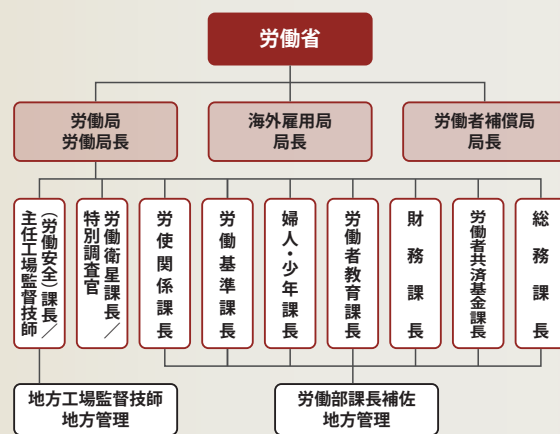
スリランカの正式名称はスリランカ民主社会共和国。

国民の7割が熱心な教徒であり仏教が人々の日常生活に密接につながっています。日本の朝のテレビ番組の「ワンポイント英会話」のコーナーで知られるウィッキーさんは、スリランカでは最も歴史のあるコロンボ大学（旧セイロン大学）出身で、更に国費留学生として日本の東京大学で学ばれた方です。

また美しい自然や紀元前からの遺跡が多数残っており、2010年に米紙ニューヨークタイムズが「世界で最も行ってみたい観光地」の1位に選んだことから以降急激に増加を続けています。日本からも観光、ゴルフをはじめスリランカの伝統医療法アーユルヴェーダを受けるために訪れる女性も多いです。

## スリランカにおける 技能実習の現場

スリランカが技能実習制度を正式にスタートさせたのは2018年からです。政府は全島に数億円をかけた近代的な訓練施設を17設け、積極的に優秀な人材育成に努めています。その組織はスリランカ政府内の能力開発・雇用・労働省の管理下にあるスリランカ労働省海外雇用局(Sri Lanka Bureau Of Foreign Employment)が中心となっており、



各研修所では日本語教育のほかに、日本の技能実習制度に合わせた各分野の学科・実技の授業を現在約1,000人の生徒が受けています。全寮制の合宿施設もあり、多くの若者が日本行きを目指して日本語と技術の習得に励んでいます。

## 介護研修

介護訓練施設では日本の介護方法に沿ったやり方で、ベッドメイキングの初歩から被介護者へのきめ細かいサービスを多くの専門の講師が指導しています。例えば被介護者の体位を変えて引き起こし、車椅子へ安全を保ちながら移動させるにも、非常に多くの注意・知識が必要になります。また車椅子を押す作業一つをとっても、実は多角的な状況判断が必要とされます。学生は実際に日本で使われているものと同様の車椅子や介護器具を使って学び、来日後にすぐに即戦力になるための訓練を日々続けています。



## 宿泊業研修

スリランカはきれいな自然と、いにしへの歴史が残した数多くの貴重な遺跡が点在する国で島全体が観光地と言える国です。

## 面接訓練

そして観光業は貴重な国の外貨獲得手段の一つとなっています。ですから宿泊施設業はスリランカにとっても、とても重要な産業です。学生の中にも家業が宿泊施設経営というケースも少なくありません。近年スリランカが世界的に観光地として注目を集めている結果、急激に増え続けている観光客へのサービスや技術的向上は欠かせなくなってきました。学生たちは多岐に及ぶ学習項目を一つ一つこなし、技能実習生として日本で更なる技能の習得と経験を積むために一生懸命勉強を続けています。

他に農業研修、ビルクリーニング業など、スリランカにとってこれが必要とされる職業を、日本で学んで本国で活かすため、身の入った研修が行われています。

実際に日本の企業で実習するには、最初に面接を通過する必要があります。スリランカの学生は真面目で勤勉ですが少しシャイなところもありますので日本式の面接訓練も研修所で行なっています。





2020年10月28日

## スリランカ民主社会主義共和国 首相 マヒンダ・ラージャパクサ閣下よりING誌に向けたメッセージ

日本は我が国にとって過去数十年の長きに渡りスリランカの発展のためにゆるぎない支援を続けるかけがえのない友好国です。私たちはこの友情がこれからも発展し続けることと固く信じております。

この両国の結びつきを更に強めることへの一環としてスリランカの若者が日本の高い技術に触れる機会と彼らの持つ精神力、価値観、能力を生かして日本へ貢献できる場を模索し続けて参りました。

我が国はこの十数年来、若者の雇用に焦点を当て、能力に応じた教育システムを導入してきました。その結果高い能力を身につけた人材の育成へとつながることができました。

更に政府は国の中枢に専門学校数校を設立しNVQといった職業資格の取得をめざす学生に対して職業訓練の場を提供できるようにいたしました。

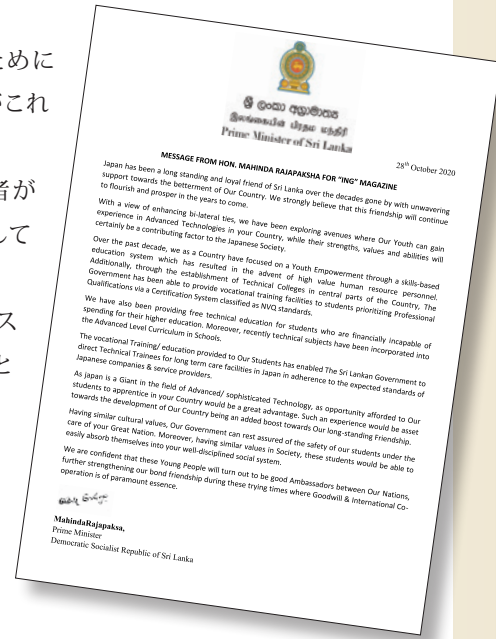
また経済的により高度な教育を受けられない専門学校生に対しては政府が無償で彼らにその機会を提供しております。更に政府は近年より高校教育の授業に専門的分野の科目を取り入れました。

この職業訓練・教育導入の結果、日本企業を含めた介護施設などの受け入れ先が望むレベルまでの技術指導を実習生に行なえるようになりました。

高度に進んだ技術大国日本での経験を積む機会を得ることは学生たちにとって非常に有益なことです。そしてそれは将来の我が国を発展へと導く財産となると同時に、両国の長年に渡る友情を更に推し進める推進力となることでしょう。

スリランカと日本はお互いに類似した文化的価値観を備えております。ですから我々スリランカ政府は日本の皆様が私たちの学生たちをあたたく見守ってくださることと安堵しております。加えて同様の社会的価値観を持った学生たちはあなた方日本の規律ある社会にもすぐに馴染むことと思えます。

私たちは若い彼らがこの非常に重要な国際協力の実習期間中に両国の絆を深め、我々二国間の架け橋となる事を確信いたしております。



මහින්ද රාජපක්ෂ



マヒンダ・ラージャパクサ  
スリランカ民主社会主義共和国 首相

【略歴】  
1945年生まれ コロンボ大卒後  
1970年国会議員に初当選  
2004年～2005年 第18代首相  
2005年～2015年 第6代大統領  
2018年 第22代首相  
2019年～第24代首相  
※現大統領は実の弟

## スリランカ労働省海外雇用局 カマル・ラトワッテ会長 (Chairman of Sri Lanka Bureau of Foreign Employment)からの公式メッセージ

今回このように価値ある本誌にメッセージを寄稿する貴重な機会を得ることができ、大変嬉しく思います。スリランカは技能実習制度並びに特定技能制度の二つの項目について日本政府と合意し二国間の契約書に署名いたしました。

現在スリランカ労働省海外雇用局のもと、技能実習制度のための準備は順調に整い、技能実習試験合格に必要な教育の向上もはかられました。

スリランカ労働省海外雇用局はスリランカにおいて送り出し機関及び制度の認可ならびに監督をする地位にあります。

またスリランカ労働省海外雇用局はスリランカ全島に設立された各訓練センターで介護やビル清掃といった職業訓練ならびに日本語学習の場を提供することを許された唯一の国家機関です。

現在国内には大小合わせて17カ所の研修施設があり、日本行きを希望する約1,200人以上の研修生が日本語を特訓し1,000人以上が技能実習制度で指定された各分野の授業を受講しております。

正式に制度がスタートした2018年からこれまでにスリランカは技能実習生として200人以上の介護実習生をはじめ、建設業、自動車整備、農業、食品製造などの分野で300人以上を日本へ送り出しております。

私たちの国から認可を受け、送られた有能なスリランカ人技術者たちが日本の皆様の期待に答える姿を想像すると感無量です。

双方にとって意義のある事業並びに業務関係が一日も早く確立されることを切に希望いたします。



スリランカ労働省海外雇用局  
カマル・ラトワッテ会長

### スリランカ政府送り出し機関



Sri Lanka Bureau of Foreign Employment  
スリランカ労働省海外雇用局

### 日本側受け入れ代行機関



ニロインターナショナル合同会社

〒352-0003 埼玉県新座市北野3-1-27-203  
代表社員 ニロシャ ジャヤナンダ  
<https://niro-international.com/>  
TEL 050-1381-7736 携帯 090-6650-1682  
Eメール n.jayananda@niro-international.co.jp



# 新型コロナウイルス感染症

## 今後の行方くオリンピック・パラリンピック開催に向けて



参議院議員 自民党参議院比例区(全国区)支部長  
小児科専門医・認定内科医 日本医師連盟参  
じ  
み

## 自見 はなこ 氏

**経歴**  
長崎県生まれ 1994年アメリカ・マサチューセッツ州Brookline High School卒業 1998年筑波大学第三学群国際関係学類卒業 2004年東海大学医学部医学科卒業後、東京大学医学部附属病院小児科勤務などを経て2016年参議院議員選挙比例区(全国区)当選 2018年参議院厚生労働委員会理事 2019年厚生労働大臣政務官 2020年日本医師会参与、日本産婦人科医会顧問、参議院厚生労働委員会理事、党青年局長代理、党中央政治大学院副院長等

<http://www.jimihanako.jp/>

### はじめに

新型コロナウイルス感染症は、わが国、そして全世界の社会経済、人々の暮らしに深刻な影響を及ぼし、いまだに終息が見えない状況である。

筆者は、2019年9月に厚生労働大臣政務官を拝命し、任在中の2020年1月にわが国で最初の新型コロナウイルス感染症例が確認されて以来、「新型コロナウイルス感染症厚生労働省対策推進本部(以下、「厚生労働省対策本部」)本部長代理として武漢市から

の邦人帰国対応、クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス号」の横浜入港、緊急事態宣言の発出、全国での感染拡大など、未曾有の事態への対応に当たってきた。2020年9月16日、第4次安倍再改造内閣総辞職に伴い厚生労働大臣政務官の任期を終えたが、引き続き医師として、国会議員として国民の命と健康を守るため、全力で取り組んで参る所存である。本稿では、これまでの状況を振り返ると共に、今後の展望について東京オリンピック・パラリンピックに焦点を当てて言及する。

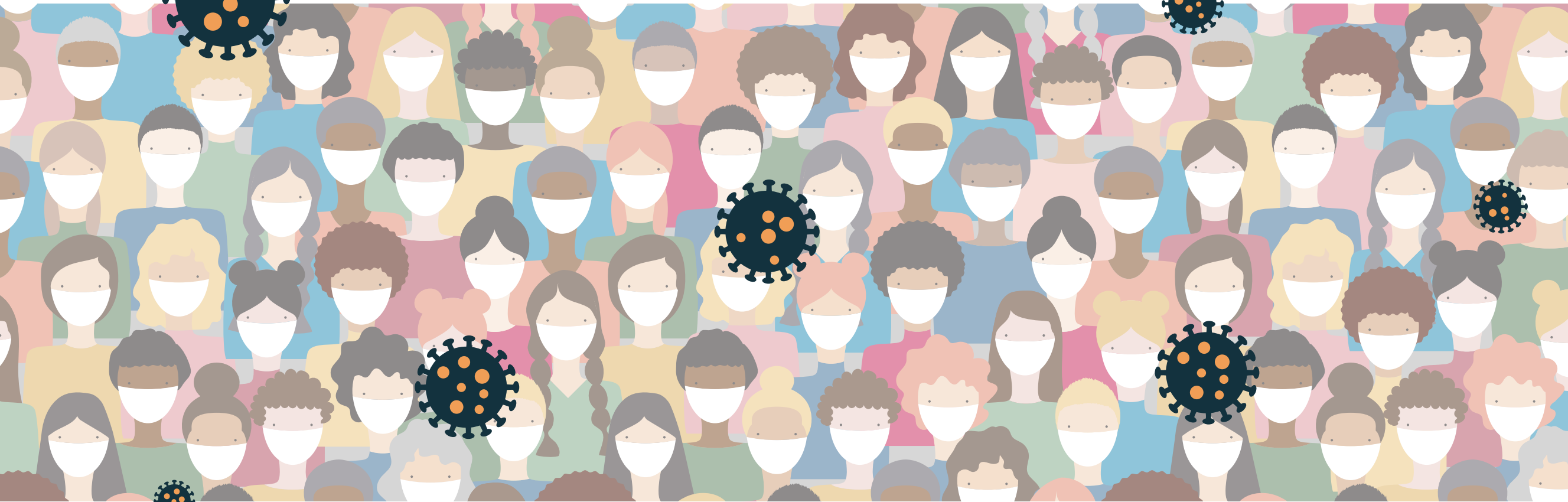
### これまでの国内外の状況と対応

心新型コロナウイルス感染症については、2019年の12月初旬に中国の武漢で最初の感染者が公式に報告されてから、わずか2ヶ月ほどの期間で日本を含む全世界に拡大し、2020年1月30日にはWHOが「国際的な緊急事態」を宣言するに至った。

筆者が大臣政務官を務めていた厚生労働省においては、2019年末から初動対応を始め、2020年1月中旬には中国からの帰国者が国内で発症したことが確認された。厚生労働省では、対策を充実させるため、1月28日に加藤勝信厚生労働大臣(現内閣官房長官)を本部長とする厚生労働省対策本部が設置され、筆者は本部長代理を拝命した。政府全体においても、1月30日に内閣総理大臣を本部長とする新型コロナウイルス感染症対策本部が設置された。また、2月に入り、ダイヤモンド・プリンセス号に対する検査における一連の対応においては、橋本岳厚生労働副大臣とともに2月10日から3月1日まで船内で活動し、現場の指揮に当たった。船内での活動に際しては、乗員・乗客の皆様のご協力と、JMAT、AMAT、自衛隊、感染症の専門家など、多くの関係者の皆様に変なご尽力を頂き、感謝の念に堪えない。

厚生労働省では2月下旬に「新型コロナウイルス感染症対策の基本方針」を策定するとともに、感染者のクラスターに係る対策を進めていくため、クラスター対策班を設置した。3月に入り、自治体に対して、地域で患者が増加した場合におけるサーベイランス、感染拡大防止策及び医療提供体制について備えるようにと改めて示した。3月9日には、政府本部の下に「新型コロナウイルス感染症対策専門家会議」が設置され、3月13日には「新型コロナウイルス感染症対策特別措置法」が改正された。これらの一連の対応では、「クラスター(集団)の早期発見・早期対応」「患者の早期診断・重症者への集中治療の充実と医療提供体制の確保」「市民の行動変容」という3つ基本戦略の下、対策を講じてきた。

また、筆者のダイヤモンド・プリンセス号の経験から、情報管理の重要性を痛感して、G-MISS<sup>※1</sup>とHERISS<sup>※2</sup>の開発と実装も進めてきた。G-MISSは、医療機関に着目した情報ツールであり、全国の医療機関(病院約8,000カ所)から、病院の稼働状況、病床や医療スタッフの状況、医療機器や医療資材の確保状況等を二元的に把握することができる。HERISSは、患者や濃厚接触者に着目した情報ツールであり、医療機関や保健所等の業務負担軽減及び情報共有・把握の迅速化を図るためのシステムである。



※1 新型コロナウイルス感染症医療機関等情報支援システム: Gathering Medical Information System on COVID-19

※2 新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム: Health Center Real-time information-sharing System on COVID-19

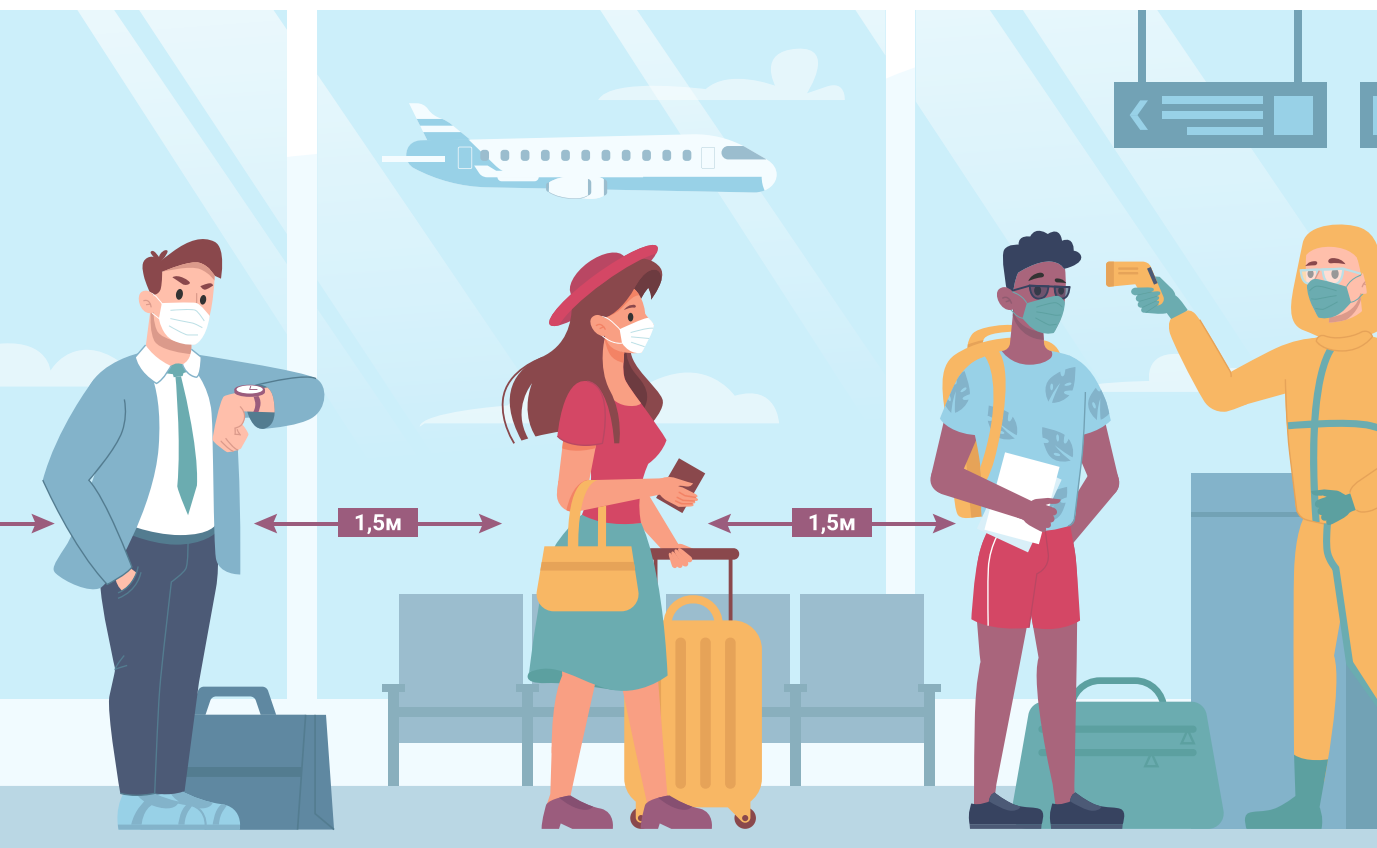


4月に入り、欧州や米国で感染が爆発的に拡大する中で、国内では都市部を中心に複数のクラスター感染が認められ、感染者数の急増により医療提供体制がひっ迫しつつある地域が出てきた。

4月7日には、7都府県を対象に緊急事態宣言が発令され、その後、対象地域が全都道府県に拡大された。なお、緊急事態宣言については、5月31日までとされていたものの、ゴールデンウィークを経ても感染の拡大が抑えられていることから、5月14日には39県で、21日には近畿3府県で、最後に25日に首都圏及び北海道でそれぞれ解除された。

全国での緊急事態宣言解除後も、各地での散発的なクラスターが確認され、厚生労働省からクラスター対策班を派遣して対応してきたが、7月には、厚生労働省本部の組織体制を見直し、本部内に「地域支援班」を創設し、本部において政策立案を担当する各班と都道府県との橋渡しを行う「ワンストップ窓口」としての機能を拡充するなど厚生労働省側から地域を支える機能の強化に努めた。それと並行して、全国的な感染拡大が一旦落ち着いてきたこの時期に何としても進めなければいけないと考えていたのが、秋冬のインフルエンザ流行期に備えた医療提供体制の整備である。

救急医療の確かさがあることは間違いなく、一方で新型コロナウイルス感染症の対策のための新たな負担、風評被害、受療行動の変化等によって医療機関の経営に切実な問題が発生している。医療提供体制を守るため、診療報酬上の特例的な対応を行うとともに、資金繰りの対策としてWAM（福祉医療機構）の無担保・無利子融資のさらなる拡充、診療報酬の概算前払い等を実施した。通常、補正予算は年に1回組まれるものだが、令和2年度ではすでに2回の補正予算が編成されている。2回目の補正予算は、6月12日に成立しており総額で約32兆円、厚生労働省所管分でおよそ5兆円である。



これらの取組を実現するため、2020年11月、自由民主党政府調査会に「訪日外国人観光客コロナ対策プロジェクトチーム（PT）」が発足し、鶴保庸介座長のもと、筆者は事務局長を拝命した。本PTは、2018年3月に発足した「外国人観光客に対する医療PT」（萩生田元一衆議院議員を座長、筆者を事務局長として発足）の発展型である。「外国人観光客に対する医療PT」が2018年5月に取りまとめ、菅義偉内閣官房長官（現内閣総理大臣）に申し入れを行った「外国人観光客に対する快適な医療の確保に向けた第一次提言」※3には、医療機関や宿泊施設の多言語対応等外国人観光客対応能力向上支援や、民間医療保健への加入勧奨、感染症対策の強化など、現在求められる施策の原型が数多く提言されている。こうした土台の上に新たな知見を重ね、議論し、東京オリンピック・パラリンピックの成功と日本経済の復活のため、全力を尽くす所存である。

円の支出が決定した。主な内容は、  
**①** 新型コロナウイルス感染症に対応する医療機関への支援（病床・宿泊療養体制の整備、診療報酬の特例的な対応、重点医療機関の病床確保の引上げ、医療資格者の労災給付の上乗せ支援など）、  
**②** インフルエンザ流行期への備え（救急・周産期・小児医療機関の支援、発熱患者等を受け入れる体制を整備した医療機関への補助など）、  
**③** 地域医療の確保に必要な診療を継続する医療機関への支援（福祉医療機構の優遇融資の拡充、必要な受診や健診・予防接種の呼びかけ等）である。

現在、世界中で開発が進められているワクチンや治療薬が新型コロナウイルス感染症克服にとって重要であることは言うまでもない。しかしながら、本稿執筆時点においては実用化への見通しは立っていない。そのような中、日常からの感染対策徹底と、安定的な検査・医療提供体制の維持が何よりも重要である。

### 東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた展望

2020年に予定されていた東京オリンピック・パラリンピックが、1年延期されることとなった。筆者は、2021年こそ是非とも開催したいと考えている。

理由は、日本中が楽しみにしている夢の大会であるばかりでなく、コロナ下にあつても安全と安心を確保しつつ海外との往来を再開し、その後の経済再生、観光拡大につなげるまたとないチャンスだからだ。海外からの観客を受け入れる大会開催に対応できる体制づくりは、そのまま今後のインバウンド増加に対応できる体制となる。そのために必要な施策として、医療機関や保健所の負担を減らしつつ感染拡大を防止することが求められる。以下、具体的な対応策について私見を述べる。

まず、日本入国前の相手国において査証を発行する条件として、精度管理されたPCR等の検査陰性証明、日本入国後14日間なり一定期間の健康状態報告義務の説明と同意、民間医療保険への義務的加入が必要と考える。尚且つ、これらの情報はICT化して、パスポート番号と紐づけた電子データとしてスマートフォン等でいつでも確認できることが重要である。入国の際にも、この情報の確認は必須である。一定期間の健康報告は先述のHERSYSに内蔵されている管理画面を活用することで二元的に行うことが可能である。この電子データによる認証は、競技会場への入場条件としても必要と考える。

医療保険についても不可欠である。感染症法上の指定感染症として、新型

コロナウイルス感染症で入院した場合の医療費は全額公費負担となる。民間医療保険優先の原則が現在はないので、わが国の公的医療保険に加入していない外国人が入院した場合、医療費は全額税金から支出されることになっていく。わが国の公的医療保険財政を守るためにも、まずは感染症法の解釈または運用の変更をして、訪日外国人観光客については民間医療保険優先の原則を打ち立て、さらに海外から日本を訪れる方々には、入国前に民間医療保険の加入義務付けるべきと考える。同様の措置は、欧州を中心に多くの国が採用しており、わが国も習うべきである。

また、入国後に発熱などがあつた場合に多言語対応可能な医療通訳、医療コンシェルジュがいるコールセンターの設置も必要である。成田や羽田から入国した外国人観光客が地方で発熱等を起こした場合、その地域の保健所が担当することとなるが、全国の保健所に多言語対応を求めることは不可能であり、一括して対応する窓口の設置が求められる。

これらの取組を実現するため、2020年11月、自由民主党政府調査会に「訪日外国人観光客コロナ対策プロジェクトチーム（PT）」が発足し、鶴保庸介座長のもと、筆者は事務局長を拝命した。本PTは、2018年3月に発足した「外国人観光客に対する医療PT」（萩生田元一衆議院議員を座長、筆者を事務局長として発足）の発展型である。「外国人観光客に対する医療PT」が2018年5月に取りまとめ、菅義偉内閣官房長官（現内閣総理大臣）に申し入れを行った「外国人観光客に対する快適な医療の確保に向けた第一次提言」※3には、医療機関や宿泊施設の多言語対応等外国人観光客対応能力向上支援や、民間医療保健への加入勧奨、感染症対策の強化など、現在求められる施策の原型が数多く提言されている。こうした土台の上に新たな知見を重ね、議論し、東京オリンピック・パラリンピックの成功と日本経済の復活のため、全力を尽くす所存である。



新型コロナウイルスの感染拡大により「新しい生活様式」の実践が求められる中、スマートフォンやパソコンを使用してインターネットに触れる機会が増えており、インターネットは、これまで以上に私たちの生活にとってなくてはならないものとなっています。

実空間において安心・安全な生活を送る上で防犯対策は必要不可欠ですが、これはサイバー空間（インターネットによって構築された仮想空間）においても同じことが言えます。

ここでは、サイバー空間における様々な脅威を紹介するとともに、インターネットの安全・安心な利用に欠かせないサイバーセキュリティ対策について解説します。

# スマホのセキュリティ 「今すぐできる サイバー空間の 防犯対策」

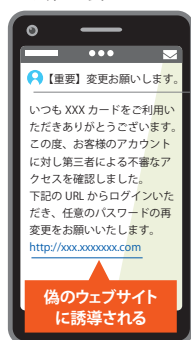


警視庁サイバーセキュリティ対策本部



図1 偽サイトに誘導するメッセージ例

●宅配業者を装ったSMSの例 ●カード会社を装ったメールの例



犯人は、実在する有名企業のウェブサイトなどに似せたフィッシングサイトを作成し、そこに誘導するために、メールやSMS（ショートメッセージサービス）などを介して不特定多数の宛先に偽サイトに誘い込むメッセージを送信します。（図1）

犯人は、フィッシングサイトに誘導された被害者に対して、個人情報等の重要な情報を入力させて情報を詐取したり、ウイルスに感染させ、金銭をだまし取るなどします。

## フィッシングによる 個人情報等の詐取

増加するフィッシング詐欺  
様々なサイバー犯罪被害の起点に

### 犯行の手口

- メールやSMSでウェブサイトへ誘導されたら、まず本物がどうかを疑う。
- メールやSMSが本物がどうか判断が付かない場合は、ウェブサイトなどで調べた正規の問い合わせ窓口で確認する。
- 送られてきたメールやSMSに記載された連絡窓口には、悪意がある場合を考えて連絡しない。
- ウェブサイトへアクセスするときは、予め登録したお気に入りや公式アプリから行う。

### ◆フィッシング詐欺の対策

金融機関、ショッピングサイト、宅配業者等の「実在する有名企業」をかたるメールが、多数確認されています。

また近年は、メールだけでなくSMSを悪用したフィッシング詐欺も確認されており、だまされないために、次のことに注意してください。

表1 情報セキュリティ10大脅威2020

順位	個人向けの脅威ランキング
1	スマホ決済の不正利用
2	フィッシングによる個人情報の詐取
3	クレジットカード情報の不正利用
4	インターネットバンキングの不正利用
5	メールやSMS等を使った脅迫・詐欺の手口による金銭要求
6	不正アプリによるスマートフォン利用者への被害
7	ネット上の誹謗・中傷・デマ
8	インターネット上のサービスへの不正ログイン
9	偽警告によるインターネット詐欺
10	インターネット上のサービスからの個人情報の窃取

（出典：独立行政法人 情報処理推進機構）

## サイバー空間の脅威

サイバー空間には、実空間に存在する国境などの「空間」や人・物の移動に伴う「時間」の制約がほとんどありません。

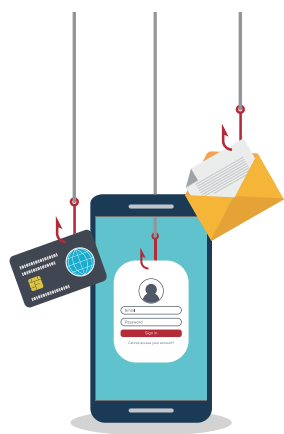
このことは日常生活の利便性を飛躍的に向上させる一方で、犯罪を企てる側にとっても好都合であり、サイバー犯罪をより悪質・巧妙化したものへと変化させています。

本年1月29日に、IPA（独立行政法人 情報処理推進機構）が発表した「情報セキュリティ10大脅威2020」によると、個人

向けの脅威ランキングで「スマホ決済の不正利用」が初登場で1位となるなど、日々新たな脅威が出現しています。（表1）。

また、スマートフォンの普及により、サイバー空間がより身近になる中、インターネット利用者は気付かないうちに様々な脅威にさらされています。

そこで、スマートフォン利用にまつわる様々な危険について紹介するとともに、被害を未然に防ぐために欠かせない対策について説明します。





## スマホの電子決済サービス 不正利用

知らない間に銀行預金が引き出される？ 最近の事例から

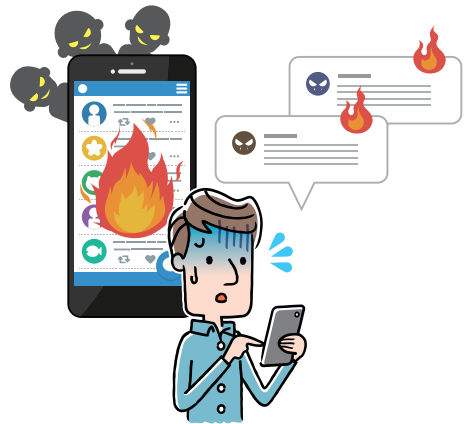
### 犯行の手法

犯人は、何らかの方法で被害者の銀行口座番号、暗証番号、氏名、生年月日などの情報を不正に入手し、これらの情報を元に無断で被害者名義の電子決済サービス用アカウントを開設し、被害者の銀行口座と紐づけます。その後、被害者の銀行口座から、無断で開設した電子決済サービスのアカウントに預金を送金し、買い物をしたり、出金するなど不正を行います。(図2)

### 被害の原因

電子決済サービスのアカウントと銀行口座の紐づけに必要な情報は、「フィッシング」によって盗み取られたものが使用されている可能性が考えられます。インターネット上では、金融機関にそっくりの「偽サイト」が確認されており、この事例では、本物と思い込んで誘導され偽サイトにアクセスした利用者が、口座番号などの情報を入力してしまい悪用された可能性が考えられます。

### 被害防止のための対策



2 同僚の転勤に際して、社内で記念撮影をして投稿  
↓投稿写真に会社の重要書類や掲示物が映り込んでいた

### こんな問題が…

機密情報漏えい

3 「今度、うちの会社は合併するから忙しい」と知人とのグループに投稿  
↓投稿内容がグループ以外にも拡散する

### こんな問題が…

インサイダー取引

4 ●●会社のこの商品は安くて美味しい」と自社の従業員が投稿  
↓「サクラ商法ではないか」と批判されSNSで炎上

### こんな問題が…

信用失墜

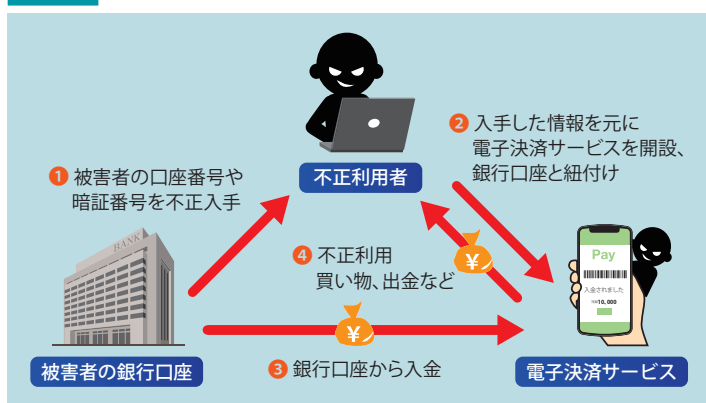
●メールやSMSから誘導されたウェブサイトで、クレジットカード番号や口座番号などの情報は絶対に入力しない。

●パスワードは長く複雑にして、使い回さない。

●2段階認証・2要素認証等の追加的な認証機能があれば、積極的に利用する。

●自身が利用するサービスを提供する事業者などからの連絡(ニュース・新聞など)により、アカウント情報が流出した疑いが生じた場合は、パスワードを変更する(そのような連絡を装った手口があるので、メールやSMSによる連絡の場合には注意する。)

図2 電子決済サービスを使った不正イメージ



## 偽警告による詐欺

### 犯行の手法

インターネット閲覧中に、突然「ウイルスに感染しています」などの偽の警告画面を表示して、不要なソフトウェアの購入やインストールを促したり、犯人が用意したサポート窓口で電話をかけさせてサポート契約を結びます。

スマートフォンの場合、セキュリティソフトと称するソフトウェアをインストールするように誘導される事例が確認されています。

また、ソフトウェアの購入やサポート契約で登録した個人情報、別の詐欺に悪用され二次被害につながるおそれもあります。



### 被害防止のための対策

警告が表示されても安易に従わず、自分が普段から利用しているセキュリティソフトやブラウザによる正規の警告画面で判断しましょう。

また判断が難しい場合は、正規のソフトウェア会社へ直接相談しましょう(警告画面に表示された連絡先は、偽物の可能性があるので電話をかけるはいけません。)

## 不適切投稿リスク〜プライベート編

1 公開範囲を設定せず、プロフィールや自分の写真と共に近況等を投稿

↓見知らぬ人に情報が漏えい

### こんな問題が…

ストーカー被害

2 家族旅行で、リアルタイムの投稿と分かるようなメッセージや写真を投稿  
↓自宅が留守であることが明らかに

### こんな問題が…

空き巣被害



3 セキュリティレベルの低いWiFiスポットでネットショッピングを利用  
↓悪意のある第三者にIDやパスワードなどの通信内容を盗み見られる

### こんな問題が…

アカウント乗っ取り

カード不正利用

4 友人と一緒に写っている写真を投稿  
↓友人に無断で投稿したことでトラブルに発展

### こんな問題が…

肖像権侵害

## 警視庁からのタイセツなお知らせ

情報通信技術の発展により、私たちのライフスタイルは大きく変化し続けています。日常生活に不可欠なものとしてインターネットを利用する以上、私たちは必然的にサイバー空間の脅威と向き合わざるを得ません。

サイバーセキュリティ対策という一見難しく感じてしまいがちですが、必ずしも高度な知識を要するものばかりではありません。利用するウェブサービスの手続きの流れを把握して、普段と違う不審な点があれば立ち止まって操作を中断するなど、常に警戒心を持つことが大切です。

私たち一人一人が、サイバーセキュリティへの意識を高め、今すぐできるサイバーセキュリティ対策を心掛けることが、安全・安心なインターネット利用につながるのです。

- タ…ダウンロードは慎重に
- イ…いますぐアップデート
- セ…セキュリティソフトを導入しよう
- ツ…使い分けようパスワード



## SNSの落とし穴

たった1回の投稿で…

SNSは、個人間の交友関係を広げたり、会社の宣伝に活用できる大変便利なツールですが、一方で使い方を間違えうと様々なトラブルの原因となってしまう。

これまで、従業員が仕事中に悪ふざけをしている姿など、不適切な投稿をしたことが社会問題となりましたが、軽率な投稿は企業が被る様々な損害だけでなく、投稿者自身も損害賠償請求や刑事責任に問われる場合があります。

また、職場だけでなくプライベートでの安易な投稿により個人情報が漏洩したり、投稿した写真から場所が特定されることで、投稿者だけでなく、家族や友人にまで被害が及ぶ危険もあります。

次に、日常生活で考えられるSNSトラブル事例について紹介します。

### 不適切投稿リスク〜ビジネス編

1 会社で悪ふざけをしている動画を仲間内に投稿

↓投稿内容が仲間以外にも拡散し、会社の評価を下げる

### こんな問題が…

損害賠償 業務妨害

**期間限定公開中!**  
令和2年10月5日~12月31日まで!

フィッシング詐欺の被害から身を守るため、ぜひご覧ください。プレゼントもあります。

アクセスはこちらから

<https://cyber-school.jp/>

小島よしおの  
**サイバーセキュリティ教室**

警視庁サイバーセキュリティ対策本部



# 国際交渉力を磨こう！



1981年2月末にワシントン特派員として赴任した僕の最初の大事な仕事は、3月30日に発生したレーガン米大統領暗殺未遂事件だった。「レーガンが撃たれた」の情報で現場のワシントンヒルトンホテルの車寄せにすっ飛んで行った。だが現場は検証が行われているだけ。大統領が運ばれたジョージワシントン大学病院に行っても中には入れない。社会部記者出身の僕でも米テレビやAPなどの通信社電に頼るしかない。

警視庁捜査課担当の事件記者だった僕は自分で情報を取れないことに「勝手が違うな」とと歯噛みしながら原稿だけは山のように送稿した。幸いレーガン大統領は心臓をかすめた弾が肺で止まっており、命をとりとめた。ブレイディ報道官は頭を撃たれ重傷で、シークレットサービスや警官は軽傷だった。

このように始まったワシントン時代は、同時期に赴任した岸井成格(政治部出身

故人、篤信彦(経済部出身) Ⅱ 両氏は後にテレビのキャスターなどとして活躍Ⅱと共に「毎日新聞のワシントン三銃士」と自称し、楽しく過ごした。ただ問題は3人も国内派だったため英語が上手でない。当時の編集局長が「外信部の英語遣いは支局に閉じこもって通信社電を訳して記事を書いている。足で稼ぐ原稿でないの面白くない」と、僕ら3人の特ダネ記者をワシントンに送り込んだのだ。だが口の悪い他社の記者は「毎日のヘレンケラー三銃士」と呼んだ。つまり英語が下手な三重苦の記者だと、からかったのだ。

## 英文文

した質問を片手にホワイトハウスの定例会見に行く。日本の記者はめったに



毎日ワシントン三銃士。右から篤信彦、岸井成格、中島健一郎、アメリカ女性の助手。

指されないが僕は手を上げる。英語遣いの他の日本人記者はただメモるだけで、手はあげない。国務省報道官のフリーフィングに日本の記者はほとんど来ない。毎日通う僕は必死に聴き耳を立てるが、アメリカ人の早口についていけない。そこでヘテラン記者のカフェテリアでの食事に



ワシントンでの記者会見。右端が中島健一郎特派員

ついて行く。「報道官の発表のポイントを教えてください」と凄じスピードでしゃべる。「もっとゆっくり、お願い」というとスローに説明してくれる。その録音を支局で何回も聴き直して原稿を書く。国務省詰め15年という記者の解説付きだから僕中原稿は内容の濃いものになった。国防総省の廊下を岸井さんとウロウロ

したら高官の部屋にたどり着いた。秘書に「日本の特派員だけ」と言っていると高官に取り次いでくれた。広い執務室に入ると「ニコ」と迎えてくれる。進駐軍の将校として鎌倉に住んでいたという。日本が懐かしくて僕らのインタビューを受けてくれたのだ。そして「ソ連の脅威」という冊子を近く発表すると話してくれた。

諜報機関が調べた内容を出すと米国の諜報能力がバシるから普通は出さないが、レーガン大統領が世界に脅威を知らしめるため踏み切ったという。

岸井さんと僕は間違ったら大変だから、お互いに聞き取れたことを突き合わせて、特ダネとして出稿した。翌日、「毎日」ユースペーパーが報じた」として世界の報道機関が後追いした。ヘレンケラー記者が国際的な特ダネをものにしたのだ。

当時、米国には敗戦国日本に対して、応援してやるという温かさがあつた。ところが10年後にワシントン支局長として赴任したら、ジャパン・アズ・ナインパーワンなどと浮かれている日本に警戒と対抗心を燃やすようになって冷たかった。

さて二度のワシントン勤務で痛感したのは、日本人はもつと英語力と交渉力を磨かないと国際的に損するということだった。事件記者の突進力で英語力不足をカバーして独自記事を書くことに努めたが、もし「ペペラ」だったらもつともつと深層に迫る記事を書けたのと思つと、今でも残念だ。

そして日本人に足りないのは語学以上に交渉力だ。アメリカでは小学校から授業でディベート(討論)させる。ブッシュ対クリントンの大統領選挙の時にクラスをそれぞれ陣営に分けて、相手側を言い負かす討論をさせる授業があつた。「エッ、子どもにそんな議論をさせるのだ」とビツクリした記憶がある。今のトランプさんを見ても、ああ言えばこう言つとどんな不利なことでも言い負けない。安倍首相はトランプさんと親しかったというが、アメリカファーストを押し付けられた印象が強い。



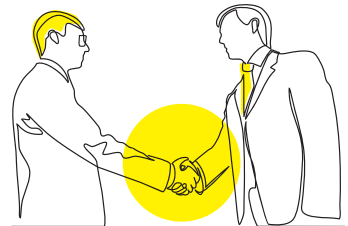
ワシントンポスト紙のパトリック・タイラー記者の自宅。お互い事件記者として気が合つて調査報道で情報交換した。

国際捕鯨委員会(IWC)を2018年2月に脱退した日本の国際交渉に同席した若い国際弁護士は、「脱退しなくても勝てる交渉だったが、日本の官僚はほとんど喋らず、有利に交渉を運ぶ能力が決定的に欠けていた」という。欧米は国際法を学んだ弁護士が交渉するが、日本は地位は高いものの語学力も弁護士のな論術もな人が対応するので歯がゆかったという。1982年6月22日に日立製作所と三菱電機の社員ら6人が米連邦捜査局

(FBI)に逮捕されたIBM産業スパイ事件で、日立の弁護士団を率いたニューヨークの辣腕弁護士、ピーター・フレミングさんと僕は情報交換する仲だった。裁判でフレミング弁護士らの弁論は小気味よかった。だが日立は和解を選択した。「勝てる裁判だったのに」とフレミング弁護士は僕に残念がった。

自国の主張をしっかりとできず、譲つてしまつ日本の交渉力不足は、2年前に出版された「日本が売られる」(堤未果著、幻冬舎新書)にデータが豊富だから是非、読んで欲しい。日本の水、タネ、牛乳、農地などが売られている実態に驚愕されるだろう。僕はミツバチを飼っているが、ミツバチが消える原因ともされるネオニコチノイド系農薬は野放し状態。欧米で禁止され始め、人体への影響で巨額賠償判決も出ているグリホサート系除草剤(商品名、ラウンドアップ)は、ホームセンターに山積み。日本で儲けよつとする国際資本の言つままで農業規制はとても緩いのだ。

世界の情報は英語でアクセスするしかない。日本語に翻訳される情報は2割くらいだからだ。負けない語学力でしたたかに交渉しなれば日本は追い込まれてしまつたろう。



ジャーナリスト  
なか じま けん いち ろう  
**中島 健一郎**氏

1944年東京生まれ 東京大学卒業後毎日新聞社に入社。毎日新聞の社会部で警視庁、警察庁、国税庁を担当する他、調査報道を行い、外信部ではワシントン特派員、ワシントン支局長として国際報道に携わる オウム真理教事件の時の社会部長。英文毎日局長、事業本部長を経て事業担当常務2006年に退任後は大正大学の客員教授を5年間務めた他、房総半島で新しい生き方を追求するミューヘッドフィールズ土太郎村作りに関わっている



「コロナ禍で注目されている「テレワーク」。

国は、「ICT（情報通信技術）を活用し、時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方」と定義している。単に、働く場所や時間が自由になるのではない。移動の時間や場所に縛られる無駄を省き、企業も働く人も時間を有効活用して働くことができる。テレワークは、コロナ禍を経て、これからの時代を生き抜くための、新しい働き方となる。

**コロナ禍で  
テレワークの状況が激変**

総務省の「2019（令和元）年通信利用動向調査」によると、コロナ前において、テレワークを導入している企業の割合は「20.2%」。テレワーク制度導入済み企業でも「利用している従業員は5%未満」という企業が半分近くを占めていた。制度導入は少しずつ進んでいるものの、一部の従業員しか利用していない、というのが実情だった。

それがコロナ禍で、テレワークの状況は激変する。東京商工リサーチ「第4回 新型コロナウイルスに関するアンケート調査」に

# テレワークが中小企業を救う

## くアフターコロナの新しい働き方に向けたアドバイス

「オフィスの重要性」に気づいた。そこで交わされていたコミュニケーションは、会議だけではない。普段のちょっとした会話や気軽な相談、周りから聞こえてくる雑談など、さまざまな情報があった。そして「仲間と一緒に働いている」という感覚や、「上司の目がある」という緊張感は、「マネジメント」の重要な要素にもなっていた。

アフターコロナに向けて目指すべき方向は、「オフィスに在ると同様のコミュニケーションやマネジメントを、テレワークでどう実現するか」である。

そのひとつの表れとして、今、「バーチャルオフィス」が注目されている。物理的に社員が離れていても、ネット経由で出社する、クラウド上のオフィスである。仲間の今の様子がわかるため、「すぐに声がかけられる」「気軽に相談できる」「新しいアイデアが生まれる」。今後、テレワークのコミュニケーション課題の解決策として、さらに広がっていくだろう。

もし、皆さんがすでに「Web会議ツール」をお使いであれば、疑念的に「バーチャルオフィス」を体験することも可能だ。以下に筆者がその方法の動画を公開しているの、興味のある方はご参考いただきたい。新型コロナウイルスの第二波、第三波に備えた先行演習になるだろう。 **図2**

によると、2020年4月～5月の緊急事態宣言下において、在宅勤務を実施した企業は「55.9%」。しかし注目すべきは、その後の数字だ。解除後は下がったものの、中小企業においては、コロナ前に比べてテレワークを実施する企業が倍増している。 **図1**

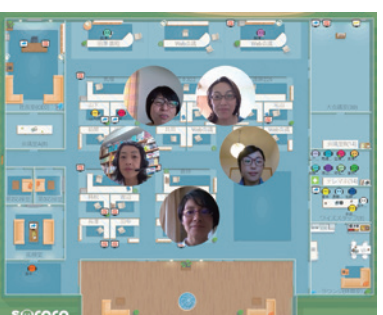
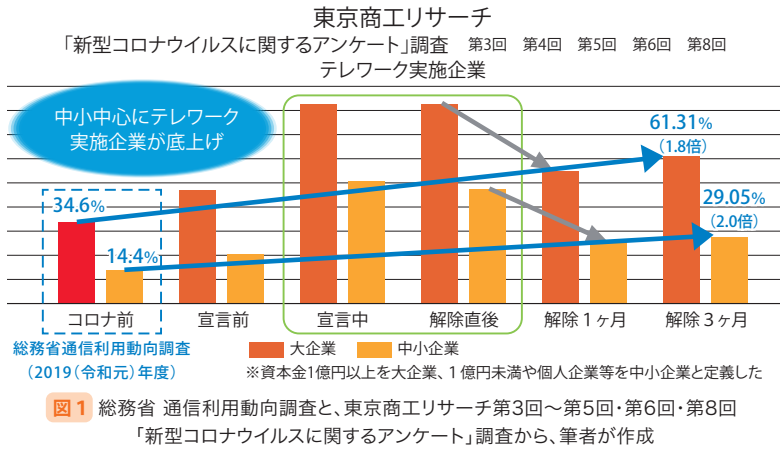


図2 バーチャルオフィスの例(弊社)

「新型コロナウイルス対策」  
仮設クラウドオフィスの  
作り方 - YouTube



一方、「時間管理ができない」「評価しにくい」というマネジメントの課題は、ICTツールの導入と活用により、「テレワークでも働く時間や進捗を見えるようにする」ことがポイントとなる。労働時間については、Webタイムカード等を活用して記録を明確にしつつ、社員自らの「自律」を促していく形がいいだろう。

管理職が部下を「評価しにくい」という課題は、「これまでどうマネジメントしてきたか」を振り返る機会としていただきたい。もし、会社に長時間いることを評価していたのであれば、この機会に改善すべきだ。テレワークに限らず、社員全員がチャットツールや社内SNSを活用して、「ホウレンソウ(報告・連絡・相談)」を見える化することが重要となる。

企業として最も気になる「セキュリティの課題」は、「どのような情報をどのような鍵で守るか」によって、コストが大きく変わって

### テレワークが 中小企業にもたらすメリット

テレワークは、決してコロナ感染防止対策だけのものではない。少子高齢化で、労働力人口が減り続ける日本において、「人手不足」は大きな課題だ。「毎日、会社に出社し、夕方まで働く」という前提が無くなれば、離職を防ぎ、より広く人材を確保できる。社員のワークライフバランスの向上も実現できる。もちろん、今回のような危機管理対策としても有効である。

またコロナ禍において、多人数・長期間のテレワークを実施した企業では、「オフィス賃貸料」や「通勤定期代」の削減になることを実感した。実際に、都市部のオフィスを縮小・解約したり、通勤手当を無くして交通費を実費精算にしたりする企業も出てきた。

また、テレワーク導入は、これまでなかなか進まなかった「IT化」のきっかけとなり、会社全体の効率化も促す。国や自治体がテレワークを推進する中、中小企業を対象とした助成金なども実施している今こそ、中小企業が動くべきだと考える。 **※1**

### コロナ禍で浮き彫りになった テレワークの課題

多くの企業がテレワークのメリットを実感すると同時に、コロナ前の「限られた社員」が「週に1、2日」実施するテレワークでは、見えにくかった課題が浮き彫りになった。緊急事態宣言解除後、聞こえてきたテレワークの課題の中心は、「コミュニケーション」と「マネジメント」だ。

「コミュニケーション」に関しては、Web会議ツールやチャットツールを導入したものの、「相手の状況がわからず声がかけにくい」「チーム業務が進まない」「仕事が覚えられない」「雑談ができず、孤独」などの声が中心だ。

「マネジメント」については、管理職からは、「部下がさぼっていないだろうか」「働き過ぎではないだろうか」という不安。「チーム全体の生産性が低下」「プロセスが評価できない」などの声も多い。働く側としては、「仕事とプライベートの区別ができず、上司にさぼっていると思われるのではないか」「自宅だと長時間労働になる」などの声が多く聞かれた。

く。コストが壁になる中小企業にアドバイスをする際は、「リモートデスクトップ」からスタートすることをお勧めしている。「リモートデスクトップ」は、自宅PCから会社のいつものPCを遠隔操作するシステムで、会社側のシステムを大きく変更することなく、テレワークが可能になる。

NTT東日本と、独立行政法人情報処理推進機構(IPA)が、リモートデスクトップ方式のシステムを期間限定で無料開放している。興味のある方は、ぜひ使ってみていただきたい。 **※2**

中小企業は、  
大きな「働き方の岐路」にいる

コロナ禍で、多くの企業がテレワークを実施したことに、さまざまな変化が起きている。「テレワークは当たり前」の社会に進んでいくことは間違いないだろう。

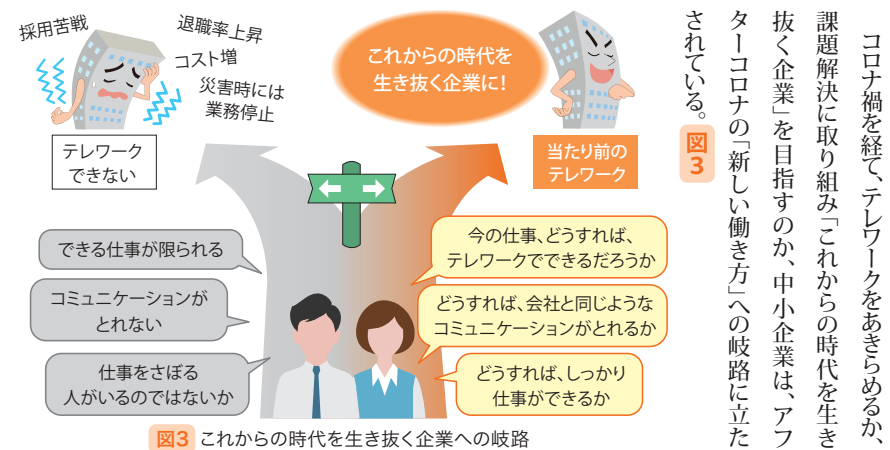


図3 これからの時代を生き抜く企業への岐路

**TELEWORK MANAGEMENT**

株式会社テレワークマネジメント  
代表取締役  
たざわ ゆり  
**田澤 由利 氏**

奈良県生まれ、北海道在住。  
1998年、在宅でもしっかり働ける会社を目指して(株)ワイズスタッフを、2008年には柔軟な働き方を社会に広めるために(株)テレワークマネジメントを設立。テレワーク導入支援や普及事業等を広く実施している。  
「総務省2015(平成27)年度情報化促進貢献個人等表彰」「テレワーク推進企業等厚生労働大臣表彰個人賞」受賞。  
著書に『在宅勤務が会社を救う』(2014年 東洋経済新報社)。  
<https://www.telework-management.co.jp/>

※2 NTT東日本-IPA「シン・テレワークシステム」 <https://business.ntt-east.co.jp/service/thintelework-system/>

※1 助成金についての詳細はこちら。「厚生労働省 テレワーク総合ポータルサイト」 <https://telework.mhlw.go.jp/subcidy/>





日本通信SIM

# 誕生、

# 合理的スマホ料金

スマートフォンは今や社会インフラであり、従って合理的な料金で利用者が使えるようにすべきだ。という考えのもと誕生したプランが「合理的かけほプラン」です。分かりやすさ、安心できる内容、無駄のない料金をご提供します。

## 合理的

### かけほプラン

REASONABLE PLAN

月額基本料

# 2,480円

通話 かけほ一だい	データ 3GB
--------------	------------

3GB以上使いたい時は  
1GBあたり250円で  
データ量を追加できます！

★通話もデータも原価ベースの仕入れなので  
大手携帯キャリアの半額以下で提供が  
可能なのです。

